

昭和 63 年度

教 授 要 目

小樽商科大学

昭和63年度 1988/1989 CALENDER

4 月	日 月 火 水 木 金 土	10 月	日 月 火 水 木 金 土
	3 4 5 6 7 8 9		2 3 4 5 6 7 8
	10 11 12 13 14 15 16		9 ⑩ 11 12 13 14 15
	17 18 19 20 21 22 23		16 17 18 19 20 21 22
5 月	日 月 火 水 木 金 土	11 月	日 月 火 水 木 金 土
	1 2 ③ ④ ⑤ 6 7		1 2 ③ 4 5
	8 9 10 11 12 13 14		6 7 8 9 10 11 12
	15 16 17 18 19 20 21		13 14 15 16 17 18 19
6 月	日 月 火 水 木 金 土	12 月	日 月 火 水 木 金 土
	5 6 7 8 9 10 11		4 5 6 7 8 9 10
	12 13 14 15 16 17 18		11 12 13 14 15 16 17
	19 20 21 22 23 24 25		18 19 20 21 22 23 24
7 月	日 月 火 水 木 金 土	1月 (64年)	日 月 火 水 木 金 土
	3 4 5 6 7 8 9		① 2 3 4 5 6 7
	10 11 12 13 14 15 16		8 9 10 11 12 13 14
	17 18 19 20 21 22 23		15 16 17 18 19 20 21
8 月	日 月 火 水 木 金 土	2月 (64年)	日 月 火 水 木 金 土
	7 8 9 10 11 12 13		5 6 7 8 9 10 ⑪
	14 15 16 17 18 19 20		12 13 14 15 16 17 18
	21 22 23 24 25 26 27		19 20 21 22 23 24 25
9 月	日 月 火 水 木 金 土	3月 (64年)	日 月 火 水 木 金 土
	4 5 6 7 8 9 10		5 6 7 8 9 10 11
	11 12 13 14 ⑮ 16 17		12 13 14 15 16 17 18
	18 19 20 21 22 ⑲ 24		19 20 ⑳ 22 23 24 25
	25 26 27 28 29 30		26 27 28 29 30 31

太字は休業日、○印は祝日及び休日  
2月27日、28日は入学試験に伴う休業(予定)

昭和63年度 行事予定

	期日・期間	内容	
前	4月14日(木)	入学式	
	4月15日(金)	2~4年次生授業開始及び成績票交付	
	4月15日(金)~4月16日(土)	新入生合宿研修	
	4月18日(月)~4月19日(火)	新入生オリエンテーション	
	4月20日(水)	新入生授業開始	
	5月10日(火)	履修届締切日	
	5月下旬	定期健康診断	
	6月1日(水)~6月11日(土)	履修確認期間	
	7月7日(木)	創立記念日	
	7月14日(木)~7月25日(月)	履修科目取消期間(通年及び前期開講科目)	
期	7月22日(金)~7月28日(木)	夏季集中講義	
	7月22日(金)~8月31日(水)	夏季休業	
	9月16日(金)	前期授業終了	
	9月17日(土)	臨時休業	
	9月19日(月)~9月30日(金)	前期定期試験	
	後	10月1日(土)	後期授業開始
		11月5日(土)	研究指導オリエンテーション
		11月7日(月)~11月28日(月)	研究指導募集選考期間
		11月26日(土)	第1回学科・課程所属オリエンテーション
		11月30日(水)	研究指導内定者発表
12月1日(木)~12月14日(水)		履修科目取消期間(後期開講科目)	
12月12日(月)~12月17日(土)		冬季集中講義	
12月11日(日)~1月18日(水)		冬季休業	
1月20日(金)~1月21日(土)		共通第1次学力試験に伴う休業日	
1月31日(火)		卒業論文提出締切日	
期	2月1日(水)	第2回学科・課程所属オリエンテーション	
	2月1日(水)~2月7日(火)	学科・課程所属募集期間	
	2月10日(金)	後期授業終了	
	2月13日(月)	臨時休業	
	2月14日(火)~2月25日(土)	後期定期試験	
	3月16日(木)	卒業判定会議(予定)	
	3月20日(月)	卒業式	

目次

I	昭和63年度開講科目	1
II	卒業に必要な単位一覧表	3
III	科目履修と単位修得	4
1	一般教育科目の履修方法	4
2	外国語科目の履修方法	4
3	保健体育科目の履修方法	9
4	基礎教育科目の履修方法	9
5	専門教育科目の履修方法	9
6	教職科目の履修方法	9
7	単位の互換制度	12
8	昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項	13
9	進級に必要な単位	14
IV	科目試験受験に際しての注意事項	15
V	卒業論文執筆要領	16
VI	昭和63年度開講科目の講義要目	21
VII	一般教育セミナーの講義要目	106

I 昭和63年度開講科目

〔一般教育科目等〕

区分	授業科目	単位数	必修科目	配当年次	実施時期	担当教官	備考	
一般教育科目	人文科学系	哲学	4		I 通年	渡辺	23	
		倫理学	4		II 通年	渡辺	23	
		心理学	4		I 通年	和田(完)	23	
		歴史学	4		I 通年	荻野	24	
		日本文学	4		I 通年	村山	24 A・B 2クラス	
		英文学						非開講
		ドイツ文学	4		I 通年	中川(勇)	24	
	社会科学系	フランス文学						非開講
		中国文学						非開講
		ロシア文学	4		I 通年	松本(忠)	24	
		社会科学概論						非開講
		社会学	4		II 通年	安田	25	
		社会思想史	4		I 通年	倉田	25 A・B 2クラス	
		教育学						非開講
外国語科目	英語	政治学	4		II 後期	田口	25	
		物理学	4		I 通年	原田	26	
		自然科学概論						非開講
		化学	4		I 前+集中	木村	26 前期・夏季集中の両方を履修	
	英語以外の外国語	生物学	4		I 通年	山田(家)	26 A・B 2クラス	
		英語Ⅰ(I-A)	2	◎	I 通年	P.5 別表参照	27	
		英語Ⅰ(I-B)	2	◎	I 通年			
		英語Ⅱ(講読) (会話・作文)	2	◎	II 通年	P.5 別表参照	30	
		英語Ⅲ(講読)	2	◎	III 通年			会話・作文に替えて講読のみ履修可
		英語以外の外国語	ドイツ語Ⅰ	4	○	I 通年	P.6 別表参照	36
ドイツ語Ⅱ	4		○	II 通年				
フランス語Ⅰ	4		○	I 通年	江口・高橋(純) 堀田・デュボワ	40		
フランス語Ⅱ	4		○	II 通年				
中国語Ⅰ	4		○	I 通年	木之内	41		
中国語Ⅱ	4		○	II 通年				
スペイン語Ⅰ	4	○	I 通年	山田(真)	42			
スペイン語Ⅱ	4	○	II 通年					
保健体育科目	ロシア語Ⅰ	4	○	I 通年	松本(忠)	42		
	ロシア語Ⅱ	4	○	II 通年				
基礎科目	体育講義	2	◎	II 前・後	大竹	43	前期・後期のいずれかを履修	
	体育実技	2	◎	I 通年	杉山・藤江・田野	44	前期・後期のいずれかを履修	
				II 前・後	中川(喜)・中川(平)			
	経済学概論	4		I 通年	A 鶴沢 B 佐竹・松井	47	経済学科 商業学科商学コース 商業学科経営法学コース 管理科学科 昭和60年度以降入学者は必修	
	商学概論	4		I 通年	片桐・篠崎・久野	48		
	法学概論	4		I 通年	猪股・和田(健)	49		
管理科学概論	4		I 通年	樋口・沼田	49			
数学	4		I 通年	白川・兼岩	50			

(注) 1. 商業教員養成課程所属学生は法学概論(日本国憲法2単位を含む)が必修となる。  
必修科目欄の◎は必修科目、○は選択必修科目を示す。  
2. 担当教官欄の数字は講義要目記載ページを示す。

【専門教育科目等】

区分	授業科目	単位数	昭和60年度以降入学者		昭和59年度以前入学者		配当年次	実施時期	担当教官	備考	
			E C L M K	E C L M K	E C L M K	E C L M K					
経済学	統計学	4	○	△	△	△	△	△	遠藤 年	52	
	数理統計学	4							久次 年	52	
	経済学	4							本間 年	52	
	経済学Ⅰ	4	○	△	△	△	△	△	今 年	53	
	経済学Ⅱ	4	○	△	△	△	△	△	山本(賢) 年	53	
	経済学特別講義	2	○						橋木 年中	54	非開講
	経済学	4							花田 年	54	
	経済学Ⅲ	4							遠藤 年	55	
	経済学Ⅳ	4	○	△	△	△	△	△	井上 年	55	
	経済学Ⅴ	4	○	△	△	△	△	△	田中 年	55	
	経済学Ⅵ	4	○	△	△	△	△	△	小野 年	56	
	経済学Ⅶ	4							吉武 年中	57	非開講 非開講
	経済学Ⅷ	4							早見 年	57	
	経済学Ⅸ	4	○	△	△	△	△	△	船津 年	58	
	経済学Ⅹ	4	○	△	△	△	△	△	佐竹 年	58	
	経済学Ⅺ	4	○	△	△	△	△	△	今 年	59	
経済学Ⅻ	4	○	△	△	△	△	△	坪沼 年	59		
経済学Ⅼ	4							松井 年	59		
経済学Ⅽ	4	○	△	△	△	△	△	片桐 年	60	非開講	
経済学Ⅾ	4	○	△	△	△	△	△	高宮城 年	60	非開講	
経済学Ⅿ	4							森田 年	61	非開講	
経済学ⅰ	4							北村 年	61	非開講	
経済学ⅱ	4	○	△	△	△	△	△	青山 年	62	非開講	
経済学ⅲ	4	○	△	△	△	△	△	(未定) 年	62	非開講	
経済学ⅴ	4	○	△	△	△	△	△	高橋(正) 年	63		
経済学ⅵ	4	○	△	△	△	△	△	小田 年	63		
経済学ⅶ	4	○	△	△	△	△	△	鶴野 年	63		
経済学ⅷ	4	○	△	△	△	△	△	東條 年	64		
経済学ⅸ	4	○	△	△	△	△	△	井村 年	64		
経済学ⅹ	4	○	△	△	△	△	△	和田(完) 年	64	非開講 非開講	
経済学ⅺ	4	○	△	△	△	△	△	高田 年	64		
経済学ⅻ	4	○	△	△	△	△	△	山本(真)松本 年	65	A・B2クラス 非開講	
経済学ⅼ	4	○	△	△	△	△	△	久野 年	66	非開講	
経済学ⅽ	4	○	△	△	△	△	△	松本(康) 年	66	非開講	
経済学ⅾ	4	○	△	△	△	△	△	中 年	67	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	福島 年	67	非開講	
経済学ⅿ	4							結城 年	68	非開講	
経済学ⅿ	4							秋山 年	68	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	藤原・神田 年	69	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	神田 年	69		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	町村 年	70		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	青竹 年	70		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	野田・浅木 年	71		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	浅木 年	71		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	和田(健) 年	71		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	丸山 年	71		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	半田 年	72		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	島田 年	72	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	川嶋 年	72	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	大谷 年	73	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	中村(恵) 年	73		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	清水 年	74		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	桑原 年	74		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	浅利 年	75		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	若林 年	75		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	樋口 年	75		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	沼田・戸島 年	76	非開講 非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	山田(一) 年	76		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	山田(一) 年	77		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	宮川 年	78		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	行方・沼田 年	78		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	行方 年	79		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	清水川 年	79		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	清水川 年	79	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	山田(賢) 年	79	A・B2クラス	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	杉本 年	80		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	戸島 年	81		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	中村(隆) 年	81		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	E: 86~90 C: 91~95 L: 96~99 M: 100~103			
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	廣川 年	83	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	横川 年	83		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	浪田 年	83		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	廣川 年	84		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	E: 久次 C: 松本, 青山 L: 丸山 M: 行方 英語: 下村			
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	三沢 年	84		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	松田 年	84	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	片山・永原 年	84	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	鶴見 年	85	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	高橋(英) 年	85	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	山本(久) 年	85	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	M.E. Carr 年	85		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	水原・君羅 年	103	商業教員養成課程所 属学生のみ履修可	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	下村・山本(A) 年	105		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	廣川 年	83		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	横川 年	83		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	浪田 年	83		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	廣川 年	84		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	E: 久次 C: 松本, 青山 L: 丸山 M: 行方 英語: 下村			
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	三沢 年	84		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	松田 年	84	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	片山・永原 年	84	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	鶴見 年	85	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	高橋(英) 年	85	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	山本(久) 年	85	非開講	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	M.E. Carr 年	85		
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	水原・君羅 年	103	商業教員養成課程所 属学生のみ履修可	
経済学ⅿ	4	○	△	△	△	△	△	下村・山本(A) 年	105		

(注) 1. 授業科目名の前に\*印が付いている科目は、昭和59年度以前入学者が当該科目を修得した場合、科目名を読み替えることになる。2. 13頁の注意事項を参照すること。3. 所屬別必修科目の◎は必修科目、○は所属学科選択必修科目、△は他学科選択必修科目。  
Eは経済学科、Cは商業学科経営法学科、Lは商業学科経営法学科コース、Mは管理科学科、Kは商業教員養成課程を示す。担当教官欄の数字は講義要目記載ページを示す。

## II 卒業に必要な単位一覧表

### 〔一般教育科目等〕

区 分	昭和60年度以降入学者		昭和59年度以前入学者	
	単位数	備 考	単位数	備 考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上	4以上	1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上	4以上	1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上	4以上	1科目以上
	計	24	6科目以上	28 7科目以上
外国語科学	18	英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目) のうちいずれか1科目 選択必修	18	英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目) のうちいずれか1科目 選択必修
保健体育科目	4	体育講義・実技共必修	4	体育講義・実技共必修
基礎教育科目	12	※必修科目を含め3科目以上	8	2科目以上
合 計	58		58	

(注) 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち、外国文学の単位については、そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。  
2. ※印を記してある必修科目については、昭和63年度開講科目表の備考欄を参照のこと。

### 〔専門教育科目等〕

所 属 区 分	経済学科, 商業学科商学コース 商業学科経営法学コース, 管理科学科		商業教員養成課程	
	単位数	備 考	単位数	備 考
所属学科(コース)科目	40	所属学科(コース)※選択必修4科目	44	※選択必修6科目(24単位)
他学科(コース)科目	24	他学科(コース)※選択必修2科目 管理科学科所属の場合は1科目		
教 職 科 目			20	※必修6科目
研 究 指 導	12	原則として所属学科(コース)を履修 履修しない者は所属学科(コース)科目12単位を充足履修	12	他学科(コース)履修履修しない者は他学科(コース)科目12単位を充足履修
合 計	76		76	

(注) 1. 商業教員養成課程に所属する学生で、英語の教員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門科目(英語科)の研究指導を履修することができる。  
2. ※印を記してある必修, 選択必修科目については、昭和63年度開講科目表の所属別必修科目欄を参照のこと。

### Ⅲ 科目履修と単位修得

本学の全課程を修了するためには、4年間以上在学し、次の事項に示された科目を履修し、単位を修得することによって全課程修了が認定され、卒業資格が与えられます。

卒業所要単位数は134単位となっており、その履修方法については授業科目区分、学科毎に定められていますが、各入学年度及び各自が所属している学科・課程によって異なりますので十分注意を要します。

本学の教育課程は、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、基礎教育科目、専門教育科目及び教職科目の区分で構成されていますので、それぞれの履修方法に従って履修計画をたてて下さい。

#### 1. 一般教育科目の履修方法

一般教育科目は、人文、社会、自然科学の三分野に分かれており、これらの科目はそれぞれの配当基準年次に沿って履修すればよいことになっている。

また、当該年次に修得しておかないと、翌年以降に履修を希望しても、専門教育科目と時間が重なったりして履修のできない場合が起こるので、配当年次どおり履修することが望ましい。

卒業要件は各分野から最低1科目4単位を含め合計24単位を修得しなければならない。ただし、昭和59年度以前入学者については28単位の修得を要する。

#### 2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語及びロシア語の6カ国語を開設している。

外国語の授業は、教室における2時間の講義に対し、教室外における1時間の学習を必要とするものとし、毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする。(学則第12条の2参照)

英語(I・II・III)はI・IIとも毎週4時間4単位ずつ、IIIは毎週2時間2単位、合計10単位が必修となる。

英語以外の外国語(I・II)はいずれか1カ国語を選択必修とし、I・IIとも毎週4時間4単位ずつ、合計8単位を修得しなければならない。

#### ★ 英 語

- 昭和63年度の英語クラス配置および教科の種別は別表のとおりである。
- 別表のうち、Eではじまる3ケタの数字はクラス別をあらわす記号である。3ケタ目の1, 2, 3は履修基準年次で、2ケタ目は教科の種別を示している。0は文学作品の講読、1は評論、伝記、語学書等の文学作品以外の講読で、2は会話作文等、3は文法である。1ケタ目の0, 1, 2……はクラス別を示す。
- 基準年次に配当されているクラスの選択は自由である。しかし、英語Iは別表A群より

2単位、B群より2単位、合計4単位を選択履修し、英語IIは講読2単位と他クラスの講読か会話・作文等のうちいずれか2単位合計4単位、英語IIIは講読2単位を選択履修すること。

なお、同一年次配当の同一教官担当のクラスを2つ履修することは出来ない。

- 履修する学生は講義要目をよく読み、最初の授業に出席した上で自主的にクラスを選択すること。
- 履修登録の手続きは、希望するクラス名をカードに書き込み、学生課教務係の窓口へ提出すること。詳細については別途指示する(学生課の掲示に注意)。なお、当然のことながら、学生部長へ提出する「履修届」には、この登録の結果を記入すること。

#### 別 表

昭和63年度英語クラス

英語 I - A 群		英 語 II		英 語 III				
講 学 作 品	E 100	永原	講 学 作 品	E 200	永原	E 300	永原	
	E 101	豊国		E 201	豊国		E 301	豊国
	E 102	豊国		E 202	豊国		E 302	君羅
	E 103	君羅		E 203	君羅		E 303	鶴見
	E 104	君羅		E 204	鶴見		E 304	菊池
E 105	鶴見	E 205	前期:永原 後期:佐藤					
		E 206	西村					
		E 207	西村					
		E 208	宮町					
		E 209	宮町					
評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	E 110	下村	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	E 210	下村	E 310	下村	
	E 111	山本		E 211	山本		E 311	山本
	E 112	津曲		E 212	津曲		E 312	津曲
	E 113	大島		E 213	津曲		E 313	前期:片山 後期:大島
	E 114	高井		E 214	高橋			
		E 215	鈴木	E 314	浪田			
		E 216	鈴木					
		E 217	根本					
		E 218	根本					
英語 I - B 群								
講 学 作 品	E 106	佐藤						
	E 115	下村						
	E 116	下宮						
	E 117	下宮						
会 話 ・ 作 文	E 120	Carr	会 話 ・ 作 文					
	E 121	Carr						
	E 122	Carr						
	E 123	Carr						
	E 124	Hanley						
	E 125	Hanley						
	E 126	Gagliani						
E 127	Gagliani							
E 128	Gagliani							
文 法	E 130	津曲						
		E 220	Carr					
		E 221	Carr					
		E 222	Hanley					

## 〔英語共通試験実施要領〕

英語 I - A 群クラスの履修と単位認定について

- (1) 英語 I は A 群から 1 クラス 2 単位, B 群から 1 クラス 2 単位, 合計 2 クラス 4 単位を選択履修すること。
- (2) 英語 I - A 群クラスの履修者には課外テキストを指定し, 年 2 回共通試験を行う。
- (3) 共通試験は前期及び後期の各定期試験期間中に行う。前期及び後期の共通試験は両方とも受験しなければならない。
- (4) 英語 I - A 群の各クラスの単位は, クラスの成績と共通試験の成績とにより, クラス担当教官が認定する。
- (5) 課外テキスト  
吉川 美夫著『考える英文法』文建書房
- (6) 昭和 62 年度以前入学生のうち, 英語 I の単位未修得者の履修方法は昭和 63 年度生の履修方法に準ずる。なお, 英語 I の単位未修得者は, I - A 群のクラスにかえて E 130 を選択することができる。ただし, I - A 群のクラスを選択する場合は, 必ず共通試験を受験しなければならない。

## ★ ドイツ語

### 1. クラス編成と授業担当者

	ドイツ語 I			ドイツ語 II		
火	I A	バ	イル	II A	バ	イル
	I B	中	川	II B	中	川
	I C	大	塚	II C	大	塚
	I D	寺	田	II D	寺	田
	I E	橋	本	II E	橋	本
木	I A	大	塚	II A	寺	田
	I B	加	納	II B	加	納
	I C	吉	岡	II C	吉	岡
	I D	寺	田	II D	(前)副島 (後)未定	
	I E	(前)副島 (後)未定		II E	大	塚

### 2. クラス説明

#### (1) ドイツ語 I

- (a) I A は, 火曜日にはドイツ人講師による会話主導の授業を, 木曜日には日本人教師による文法の授業 (火曜日のドイツ人の講師による授業をある程度踏まえる) を行う。
- (b) I B・C・D は, 火曜日には易しい講読 (主として文法知識の応用的訓練) の授業

を, 木曜日には文法の授業を行う。

I E は I B~D と曜日が逆になり, いずれも, 日本人教師が担当する。

#### (2) ドイツ語 II

- (a) II A は, 火曜日にはドイツ人講師による会話主導の授業 (内容は前年度の続き) を, 木曜日には日本人教師による講読 (火曜日のドイツ人講師による授業をある程度踏まえる) を行う。
- (b) II B・C・D・E は, 火曜, 木曜とも講読を行う (ただし応用的訓練を主とすることもある)。いずれも日本人教師が担当する。

### 3. 履修方法

- (1) 各履修者は, A・B・C・D・E のうちいずれか一つのクラスに所属し, そのクラスの授業に週 2 回出席しなければならない。(一人が二つのクラスに所属していた一昨年までのやり方を止めたので, 3 年次生以上は注意すること)
- (2) ドイツ語 I・II とも, A クラスには希望者のみ所属でき, それ以外のクラスは所属指定である。尚, クラスの所属は 4. による。
- (3) I A・II A とも履修者数を教室の都合上 40 名までとする。これを越えた場合には抽選によって履修者を決定する。
- (4) II A の履修は, 原則としてすでに I A を修得済の者に限られる。ただし, ドイツ語 I で優の成績を収めた者については, 例外として履修を許可する。
- (5) I A・II A の同時履修は許されない。その他のクラスについても I・II の同時履修は出来るだけ避けること。それが止むを得ぬ場合にも, I が不合格であれば II も不合格となるので厳に注意すること。

### 4. クラス所属

学生番号に従って下表のようなクラス配属となる。この要領は全学年共通である。

	ドイツ語 I	ドイツ語 II
A クラス	希望者	希望者
B クラス	1 番 ~ 105 番	1 番 ~ 100 番
C クラス	106 番 ~ 212 番	101 番 ~ 200 番
D クラス	213 番 ~ 319 番	201 番 ~ 300 番
E クラス	320 番 ~ 最終番	301 番 ~ 最終番

### 5. 注意事項

- (1) 授業出席を重視する。各学期 1/3 以上欠席したものには, 原則として各定期試験の受験資格を与えない。
- (2) ドイツ語 I のオリエンテーションを 4 月 21 日 (木) 9 時 30 分より 210 番教室において行

うので、ドイツ語Ⅰ履修希望者は必ず出席すること。

- (3) 辞書の紹介は、オリエンテーションで行う。
- (4) 所属クラスの教科書は、最初の授業までに本学生協で必ず購入しておくこと。すぐに品切れになることが多いので早目に購入すること。
- (5) ドイツ語およびドイツ語の授業に関する質問や要望があれば、遠慮なく本学専任のドイツ語教官の研究室を訪ねること。

## ★ フランス語

フランス語の授業は下記のクラス編成で行われる。

	フ ラ ンス 語 Ⅰ	フ ラ ンス 語 Ⅱ
火	I A 堀 田	Ⅱ A 堀 田
	I B 江 口	Ⅱ B 高 橋
	I C 高 橋	Ⅱ C 江 口
木	I A 江 口	Ⅱ A 高 橋
	I B 高 橋	Ⅱ B 江 口
	I C デュボワ	Ⅱ C デュボワ

### 注 意

- (1) フランス語Ⅱのクラス編成は前年度履修したフランス語Ⅰに同じ。
- (2) Cは会話を中心とした少人数編成(定員25名前後)のクラスで、自由選択制であるが、授業内容はハードであるから、よく考えて選ぶこと。  
希望者多数の場合には抽選により決定する。
- (3) フランス語ⅠA・ⅠBは学生番号順にクラス分けを行う。所属クラスは追って指示する。
- (4) 再履修者は過去履修したものと同一のクラスに所属すること。ただし、ⅠCの再履修は認めない。
- (5) 1年次生は、後日指定する日時に行うオリエンテーションに必ず出席すること。

## ★ 中 国 語

## ★ ス ペ イ ン 語

## ★ ロ シ ャ 語

この3科目についてはクラス編成をとらない。

## 3. 保健体育科目の履修方法

保健体育科目の実技2単位については、1年次毎週2時間(2単位の $\frac{1}{3}$ )、2年次前期または後期に毎週2時間(2単位の $\frac{1}{3}$ )の計2単位、講義については、2年次前期または後期に毎週2時間2単位がそれぞれ必修である。

## 4. 基礎教育科目の履修方法

基礎教育科目は、専門の基礎を与えることを目標として開設しているが、専門教育の単なる前段的なものではなく、広義の基礎を与えるとともに、一般教育の充実と統合を図るねらいをもって開設されている。

このため、学科で必修と指定した科目(昭和60年度以降入学者が該当)以外の履修も重要である。

## 5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は各学科・課程で指定した選択必修科目(商業教員養成課程は教職科目の必修を含め)のほか研究指導を含め、合計76単位を修得しなければならない。

研究指導は、毎週3時間、3年次から2カ年継続授業で12単位(卒業論文を含む)であり原則として、所属する学科・コースの研究指導を履修するものとする。商業教員養成課程に所属する学生は、学科・コースの区分を問わず、各自の志望する研究指導を履修することができる。なお、昭和59年度実質3年次生からは、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門科目(英語科)の研究指導を履修することができる(詳細については別表(Ⅱ)を参照のこと)。

研究指導を履修しない学生(いわゆるノンゼミと称する学生)は研究指導分の12単位をそれぞれ所属する学科の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。

なお、商業教員養成課程に所属する学生にあっては、経済学科・商業学科(各コース)・管理科学科の専門教育科目によって充足しなければならない。

## 6. 教職科目の履修方法

教職科目は、教員免許状取得のために開設されており、商業教員養成課程に所属する学生は「教職に関する専門科目」20単位が卒業所要単位に算入され、他に指定された専門教育科目を併せて修得することにより、高等学校教諭商業2級普通免許状取得資格が与えられる。

なお、別表(Ⅱ)による教科に関する専門科目の単位数と、教職に関する専門科目のうち「英語科教育法」を修得すれば高等学校教諭英語2級普通免許状も併せて取得することができる。

商業教員養成課程以外の学科に所属する学生で上記免許状の取得を希望する者は、別表(Ⅰ)(Ⅱ)の単位をそれぞれの学科の卒業所要単位のほかに修得しなければならない。

また、別表(Ⅱ)で指定した科目のほか「道徳教育の研究」2単位を修得することにより、管理科学科所属の学生を除いて中学校教諭英語1級普通免許状をも取得できる。



(I) 高等学校教諭商業2級普通免許状取得希望者の単位修得方法

(商業教員養成課程所属以外の学生)

区 分	単位数	必修科目	選択科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門科目	16	教育原理 4 教育心理学 4 商業科教育法 2 教育実習 2 教育史 4	
教科に関する専門科目	20	職業指導 4	統計学, 経済原論I, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 企業形態論, 簿記学, 会計学, 経営情報論, 情報処理I, 財産法I, 会社法 (4科目選択)
合 計	40		
備考 基礎教育科目の法学概論及び教科に関する専門科目の選択科目については、それぞれの学科の卒業所要単位と併用できる。			

(II) 高等学校教諭英語2級普通免許状取得希望者の単位修得方法

区 分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門科目	14 (17)	教育原理 4 教育心理学 4 英語科教育法 4 教育実習 2 (教育史 4)	
教科に関する専門科目	32	英語学関係 8	☆英語学概論 4 ☆言語学概論 4 英語学演習I 4 英語学演習II 4
		英文学関係 8	☆英文学史 4 ☆英文学概論 4 英文学演習I 4 英文学演習II 4
		英会話・英作文 4	
			商業英語 4 研究指導 12
合 計	50 (53)		

備考

- それぞれ所属する学科の卒業所要単位の外に上記単位数を修得しなければならない。ただし、基礎教育科目の法学概論は卒業所要単位と併用できる。
- 商業教員養成課程以外の学生で、昭和61年度以前において「英語科教育法」を3単位で修得済の者は「教育史」の修得も必要となり、教職に関する専門科目は17単位になる。
- 選択必修科目のうち☆印は各領域から一科目必修。
- 「商業英語」は「英会話・英作文」又は演習科目と読み替えることができる。
- 「研究指導」は商業教員養成課程に所属する学生のみ履修することができ、修得単位は英語学又は英文学の単位として換算できる。
- 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は、(I)、(II)表両方の場合に併用できる。

教職関係科目開講予定

次のとおり開講するので、履修計画においては注意すること。

科 目 名	昭和63年度	昭和64年度
教 育 原 理	○	×
教 育 心 理 学	×	○
商 業 科 教 育 法	○	×
英 語 科 教 育 法	○	×
道 徳 教 育 の 研 究	○	×
教 育 史	○	○
職 業 指 導	○	○

○印=開講, ×印=非開講

7. 単位の互換制度

北海道大学経済学部で下記の授業科目を履修することが認められる。この場合の身分は北大の特別聴講学生となる。

(1) 聴講出願対象者

学則に関する細則 1. 科目履修細則第 5 条に規定する〔1, 2 年次配当科目 55 単位以上〕単位数を修得した 63 年 4 月現在の 4 年次生。

(2) 聴講科目

授 業 科 目	単 位	担 当 教 官	開 講 時 期
世 界 経 済 論	4	佐 々 木	後 期
経 済 学 特 殊 講 義 I	2	吉 田(雅)	後 期
経 済 学 特 殊 講 義 X	2	牛 山	後 期
企 業 行 動 論	4	小 林	前 期
産 業 技 術 論	4	吉 田(文)	後 期
経 営 学 特 殊 講 義 VII	2	大 石	集 中

① 「世界経済論」、「経済学特殊講義 I」、「経済学特殊講義 X」は本学の経済学科の専門科目、「企業行動論」、「産業技術論」、「経営学特殊講義 VII」は本学の商業学科商学コースの専門教育科目として扱い、卒業所要単位に算入する。

② 1 科目につき、20 名が限度。

(3) 聴講期間

聴講科目の開講時期で前期とあるのは、昭和 63 年 4 月～9 月、後期とあるのは、昭和 63 年 10 月～昭和 64 年 3 月、集中とあるのは、昭和 63 年 12 月 19 日～12 月 23 日である。

(4) 授業料 不要

授 業 科 目	単 位	担 当 教 官	開 講 時 期
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

8. 昭和 59 年度以前入学者の履修上の注意事項

- (1) 次表の適用入学年度生において B 欄に掲げている授業科目を履修し、単位を修得した場合は、A 欄に掲げている授業科目の単位を修得したことになります。
- (2) 次表の A 欄に掲げている授業科目の単位をすでに修得済の者は、B 欄に掲げている授業科目を履修することはできません。

適 用 入 学 年 度	授 業 科 目	
	A 欄	B 欄
昭 和 55 年 度	英 文 学 I	英 文 学 史
	英 文 学 II	英 文 学 概 論
	英 語 (上級 II)	英 文 学 演 習 I
	英 語 (上級 IV)	英 文 学 演 習 II
	英 語 学 I	言 語 学 概 論
	英 語 学 II	英 語 学 概 論
	英 語 (上級 I)	英 語 学 演 習 I
	英 語 (上級 III)	英 語 学 演 習 II
昭 和 58 年 度 以 前	行 政 法	行 政 法 I
	銀 行 論	金 融 政 策
	国 際 法	国 際 法 I
昭 和 59 年 度 以 前	国 際 資 源 論	国 際 法 II
	経 済 変 動 論	経 済 原 論 II
	経 済 原 論 II	経 済 原 論 III
	管 理 会 計	管 理 会 計 論
	原 価 計 算	原 価 計 算 論
	経 営 分 析	経 営 分 析 論
	外 国 語 特 殊 講 義	外 国 人 特 殊 講 義
	事 務 機 械 化	経 営 情 報 論
	機 械 化 会 計	会 計 情 報 論
	応 用 数 学 特 講 I	応 用 数 学 特 講
	計 算 機 論 I	情 報 処 理 I
	情 報 処 理	情 報 処 理 II
計 算 機 論 II	情 報 処 理 III	

## 9. 進級に必要な単位

### (1) 1年次 → 2年次 16単位

1年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1年次配当科目のうちから16単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 2年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 学科または課程に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間3年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

### (2) 2年次 → 3年次 55単位

2年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1・2年次配当科目のうちから55単位以上を修得していない場合は、

- (ア) 3・4年次配当科目の履修はできない。
- (イ) 研究指導に所属することができない。
- (ウ) 卒業が1年以上延期される。
- (エ) 在学期間4年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

この55単位の算入については次表のとおりなので、履修上注意すること。

科目	年度	昭和59年度生以前	昭和60年度生以降
一般教育科目		28単位まで算入	24単位まで算入
外国語科目		16単位 "	16単位
体育(実技・講義)		4単位 "	4単位
基礎教育科目		8単位 "	12単位
専門教育科目		2年次配当科目	2年次配当科目

ただし、専門教育科目については所属学科以外の科目について、28単位まで算入、また商業教員養成課程については専門科目の外に教職科目も算入する。

## IV 科目試験の受験に際しての注意事項

定期試験(前期、後期)およびこれに準ずる試験を受験する場合、次の注意事項を厳守して、不利益をうけることのないよう十分留意してください。

1. 指定された席に着席すること。(試験開始5分前には着席していること)  
随時行う試験では席を指定しないこともある。
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない。(座席の受験番号横におくこと)
3. 試験時刻に遅れた者は原則として受験できない。ただし、20分以内の遅刻者は、事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了前10分以後は退場できない。
6. 教科書、参考書、ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め、これらをむき出しのまま机の中に入れてはいけないこと。
7. 教科書、参考書、ノートなどの参照を許された試験においては、それらの貸借をしてはならない。受験生の間で、貸借のあった場合は、それを不正行為とみなす。
8. 試験において、私語、その他不正行為の疑惑を招くような行為のないよう特に留意すること。
9. 試験中の不正行為については、学則に照し厳重に処分されるから厳正な態度で受験すること。さらに、不正行為を行った者に対しては、その学期に履修した科目の総ての単位は認定しない。したがって、在学期間が1年以上延期することになる。
10. 配布された答案用紙は必ず提出し、これを持ち帰ってはならない。
11. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させる。

## 卒業論文執筆要領

卒業論文の形式について一般的な原則をのべるが、専攻分野ごとに、用語・文献の引用方式・記号の利用などに差があるので、指導教官の指示に従うこと。

### 1. 用紙など

和文で執筆する場合には、所定の原稿用紙を使用し、黒またはブルー・ブラックのインクを用いる。油性インクのボールペンは避けた方がよい。文字は楷書とし、誤字・脱字に注意する。多色にする必要がある場合にも一定の方針をたてて統一し、さらに、必要最低限の多色化にとどめること。なお、ワード・プロセッサで作成する場合の用紙の規格、体裁及び1ページの文字数等については、指導教官の指示に従うこと。欧文で執筆する場合には、通常サイズの白地のタイプライター用紙にタイプ印刷する（いわゆるオニオンスキンは使用しない）。

### 2. 提出期限など

今年度は、1月31日(火)17時(時間厳守)なので十分留意すること。仮り綴じのうえ、附属図書館で図書返却の確認を受けたのち、製本料を添えて教務係に提出する。仮り綴じのためには、教務係のドリルを使用してもよい。製本料は確定次第掲示で通知する。

表紙のみ、あるいは目次程度、または序章程度といった論文とは認めがたい卒業論文は受理しない。

### 3. 表紙および裏表紙

表紙と裏表紙は本文と同一の用紙を用いる。表紙には論文のタイトル、学生番号、氏名、ゼミナール名、および提出年度(昭和63年度提出)を記し、裏表紙に図書館の返却済確認印を受ける。タイトル等は原簿に記入され、成績証明書、図書館の目録カード、製本後の背表紙の書きこみ等の場合に必要になるので、正確に書くこと。なお、副題をつける場合には、その左右を棒線ではさむ。

### 4. 「はしがき」と「目次」

「はしがき」(「まえがき」「序」)にはテーマを選択した動機などを書く。なお、指導や助言を受けた人達、調査等に協力した人達に対する謝辞もここに書く。ただし、「はしがき」は省略してもよい。「はしがき」と「あとがき」の両方を書くことは、卒業論文の場合、概して不適當である。

「目次」は「表紙」または「はしがき」の次の用紙に書く。必要に応じて、「表目次」、「図目次」を別につけ加えてもよい。

## 5. 本文

- (1) 文体は「……である」の形とし、なるべく簡潔な文章とする。
- (2) 新しい章は新しいページから始める。
- (3) 章題と文章、あるいは、章題と節題の間は1行あける。
- (4) 章(節)の番号と章(節)題の間は1マスあける。
- (5) 各節の間は2行あける。
- (6) 新しいパラグラフの始めは1マスあける。
- (7) 句読点などは1字とする。ただし、行末の句読点は「ブラサゲ」として、マスの欄外に書き、次行のはじめにはもっていかない。
- (8) 欧字と算用数字は、原則として2字で1マスとする。
- (9) 欧文イタリック文字は、単語の下または文章の下にアンダーラインを引いて示す。

## 6. 図表

表とグラフは、グラフ用紙や集計表に書いて、原稿用紙の当該箇所にはりつける。場合によっては「別表」として論文の末尾にまとめてよい。原稿用紙と同じサイズになる場合にははりつけずに、そのまま1ページ分として綴じこんでもよい。他の文献等の図表のコピーをそのまま利用することは、特別の場合を除いて、避けるべきである。計算機のプリントアウトは、サイズがあえば、そのまま1ページとしてよい。これらの場合に、製本のときにヘリを数ミリメートル切り落とすことがあるので、上下左右は十分にマージンをとっておくことが必要である。また、図表には出所を明記する。

## 7. 「注」

指定原稿用紙では「脚注」をつけることができる。しかし、1つの注を3ページ以上に分けることは不適當であるから、長い注については工夫が必要である。注は各章の終りにまとめて書いてもよい。なお、注のなかに注をおいてはいけない。

## 8. 引用文献、参考文献、および引用について

文献からの引用には必ず「」(欧文引用のときには“ ”)をつけ、その文献を注などで明示する。なお、原典自体のなかに「」(または“ ”)が含まれる場合には、原典中「」(または“ ”)を『』(または‘ ’)に代える。要約して引用するときには、原文の文意を損なわないようにし、更に要約引用の範囲が分るように、出典と引用箇所を(たとえば注を用いて)明示する。「孫引き」は、できるだけ避けて、原典にあたってチェックすべきであるが、やむを得ない場合には再引用であることを明記する。

引用文献、参照文献は注番号を明示したうえで、脚注部分に記載するか、または論文末尾(または各章末尾)に一括して記載する。文献記載の原則は次のとおりである。

## 和 書

著者名『書名』, 出版社名, 出版年。

または

著者名『書名』 (出版社名, 出版年)。

引用ページを明示する場合には, このあとに引用ページを書く。

<例> 小宮隆太郎・天野明弘『国際経済学』, 岩波書店, 1972年, PP. 8-10。

藤瀬浩司『資本主義世界の成立』 (ミネルヴァ書房, 1980年), 56頁。

翻訳書の場合にも

<例> J. ブーヴィエ (井上隆一郎訳) 『ロスチャイルド』 (河出書房新社, 1966年), 第3章。

R.A. Mundell, *International Economics*, New York: Macmillan, 1968,  
(渡辺・箱木・井川訳『国際経済学』, ダイアモンド社, 1971年)。

などが通常の形式である。(なお, 以上は文献を引用するときの原則であるから, 提出卒業論文の表紙のタイトル全部を『 』でかこんでではない。)

和雑誌のなかの論文 (および論文集の中の一つの論文)

著者名「論文名」, 『雑誌名』第△△巻, 第△号 (発行年)。

著者名「論文名」, 編者名『書名』出版社名, 出版年。

(または, 著者名「論文名」, 『書名』(編者名)出版社名, 出版年)。

などとする。

<例> 関口尚志「イングランド銀行バーミンガム支店」, 『経済学論集』 (東京大学) 第47巻第2号, ××頁。

岡田純一「近代経済学とスミス」, 経済学史学会編『国富論の成立』, 岩波書店, 1976年, P. 345. (複数ページの場合, PP. 345 ~ 351.)

洋書および洋雑誌のなかの論文

著者名, 書名, 出版地: 出版社, 出版年

注(1)

著者名, “論文名”, 雑誌名, Vol. 巻数, No. 号数 (発行年)

等とする。ただし, 出版地: 出版社を ( ) に入れることもある。また“論文名”, “雑誌名”の代りに“論文名”, “雑誌名”とすることも多い。著者名は A. Smith とする場合と Smith, A.

とする場合の両方があるが, 著者名が2つ以上並ぶ (共著の) 場合に, 2人目以後の人名については, A. Smith (または Adam Smith) のようにファースト・ネームを先に書くのが一般である。雑誌の No. 号数はしばしば省略する。また, Vol. および No. の代りに vol. および no. とすることも多い。

これらについては, 標準的な図書および雑誌を参照して, もっとも適当と思われるものを選択したうえで, 統一して使用する。

さらに, op. cit., loc. cit., ibid., (または ibid..) 等もよく利用される辞書などで意味を調べて, 誤用しないことが必要である。

注(2)

味を調べて, 誤用しないことが必要である。

## 参考文献

米国現代語学文学協会編 (原田敬一訳編) 『MLA新英語論文の手引』 (北星堂書店, 第2版, 1986年)。

トゥラビアン著 (高橋作太郎訳) 『英語論文の書き方』 (研究社出版, 1982年)。

※ この要領をまとめるに当たっては, 何人かの教官の御協力をいただいたが, とくに, 『井上ゼミナール用卒業論文執筆要領』と佐竹教官がまとめたメモとを参照した。

注(1) 書名, 雑誌名についてアンダーラインはイタリックを使用せよという指示である。

注(2) op. cit., loc. cit., ibid., は, 引用によってローマン体を使うかイタリック体を使うかによって変わる。

<例> op. cit., (前掲の意味) で前掲が, 論文名であればローマン体, 前掲が書名, 雑誌名であればイタリック体を使用する。

loc. cit., (上記引用文中), ibid., (同上) も同様である。

なお, ibid. については, 先頭に来る時は大文字となる。

著者名「書名」 出版社名、出版年、  
 または  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。

引用ページを明記する場合には、このあとに引用ページを記す。

著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。

著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。

著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。  
 著者名「書名」 (出版社名、出版年)。

著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年

著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年

著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年  
 著者名、書名、出版社名、出版年

## VI 昭和63年度開講科目の講義要目

### 目 次

1 一般教育科目	23
2 外国語科目	27
3 保健体育科目	43
4 基礎教育科目	47
5 専門教育科目	52
6 教職科目	83
7 研究指導	86

## 1 一般教育科目

### 哲 学

教授 渡 辺 祐 邦

過去の偉大な哲学者の著作を読みながら、存在の問題、真理の問題、実存の問題等の哲学の基本的問題を考えます。今年度は、昨年に引きつづきヘーゲルの『小論理学』をテキストとしますが、教官が一方的に講義するのではなく、学生自身がテキストを自分で読み、教官の質問に答えるという方法で進めますので、最初に現代ドイツの大哲学者アドルノの『三つのヘーゲル研究』の中の「ヘーゲルをどう読むか」を集中的に読みます。なお、このほかに二年目以上でフランス語Ⅱ終了に相当する学力をもつ学生には、文献研究を主とするコースを設けるので、希望者は申し出ること。

テキスト：

Th・W・アドルノ『三つのヘーゲル研究』渡辺祐邦訳，河出書房新社。

ヘーゲル『小論理学』上・下，松村一人訳，岩波文庫。

### 倫 理 学

教授 渡 辺 祐 邦

共同存在としての人間の行動原理，とくにポリス的人間の存在構造を分析した最初の著作であるアリストテレスの『政治学』を読みながら，現代における人間の在り方とそこに日々提起される諸問題について考えます。アリストテレスのテキストはギリシャ語なので，学期はじめに簡単なギリシャ語文法を学び，翻訳と並用します。

テキスト：田中美知太郎・松平千秋『ギリシャ語入門』，岩波全書

アリストテレス『政治学』山本光雄訳，岩波文庫。（アリストテレスの原文テキストは，ギリシャ語の学習が十分と判断された人にものみ，のちほど差し上げます。）

### 心 理 学

教授 和 田 完

現代心理学の特質を，歴史的な成立の過程を通して検討する。行動主義的な方法の導入，力動的な考え方などが特に強調されよう。また，動機づけ，学習実験，認知，ことに知覚の問題，パーソナリティ論等が話題とされる。

なお，精神病理学，文化人類学等の隣接領域について，しばしば触れるであろう。

教科書：和田完他著『人間行動の諸相』明玄書房

### 歴 史 学

助教授 荻 野 富士夫

本年度は，日本近代史の諸問題と題して，幕末の開港から第二次大戦敗戦までの歴史を概観します。「近代天皇制国家」の形成・確立・動揺・崩壊の過程を基軸に，思想史・社会運動史・女性史への視点を含め，毎回一テーマを掲げて講義を進めます。

おそらく高校日本史・世界史においては近現代史の学習は時間的に十分でなかったと予想されるので，この講義では20世紀以降に焦点を合わせます。その際，文学作品を含む史料を

通して、各時代への理解を深め、全体として日本近代史への正しい認識を得られることを目標とします。

テキストは『日本の近代——国家と民衆——』（梓出版社，2000円）をベースに、毎回のテーマに即した史料をプリントして配付します。

評価の方法は、④日本近代史（戦後史も可）に関する自由研究——400字詰30枚以上、学年末提出、⑤日本近代史上における古典的著作ないし研究書（新書程度）に対する批評的レポート——年間三回、各10枚以上、のいずれか選択と教場試験とします。

## 日本文学 A・B

教授 村山 出

詳しいことは最初の講義の時間に説明しますが、AとBとでは授業の形態が違いますので、よく考えて選択して下さい。なお履修を決定した後に、選択の変更は認められませんので、注意して下さい。

A 小人数クラスで、身につく学習を希望する人を対象とします。

今年度は「万葉集の風土と歌人」をテーマに、各自の学習の報告を中心に展開する演習の形態をとります。後期には、万葉歌人が生活した自然や旧跡を求めて大和地方を訪れることも検討中です。

最終的にはレポートをまとめていただきます。

B 講義の形態をとるクラスで、今年度は『万葉集』の表現・思想・代表的な歌人について取り上げる予定です。教科書は必ず用意して下さい。

A B共通の教科書：伊藤 博校注『万葉集』上下2冊（角川文庫）

## ドイツ文学

教授 中川 勇 治

講義の前半では、主としてドイツ文学の歴史的な展開を概観します。後半では、今世紀のドイツ小説を中心に、代表的な作品を若干取りあげ、具体的に解説します。聴講者は、講義中に挙げられた作品を、翻訳を通してでも、みずから読まれるよう要望します。ドイツ語の知識は、かならずしも必要ではありません。

参考書

手塚富雄著『ドイツ文学案内』（岩波文庫）

## ロシア文学

教授 松本 忠 司

講義の内容は、大きく二つの部門に分けられる。

(I) 第一の部門は、ロシア文学の成立と展開をめぐる諸問題を、インテリゲンツィヤ精神史の観点から考察する。

(1)インテリゲンツィヤの成立とその背景 (2)批判的リアリズムの成立とその発展（プーシキンとゴーゴリを中心に） (3)農奴解放期の文学（ツルゲーネフ、トルストイ、ドス

トエーフスキイを中心に） (4)世紀末の文学（チャーホフを中心に）

(II) 第二の部門は、(I)の講義内容の理解の上に立って、マクシム・ゴーリキイと19世紀

末ないし20世紀初頭のロシア文学の諸問題を取り扱い、ゴーリキイの生涯と文学創造を中心に検討しながら、文学と人間・時代・社会のかかわり合いを考究していく。

受講者にロシア語の知識は要求しないが、世界史の歩みの大筋についての理解を用意して講義に臨んでほしい。また、テキストは使用しないので、この講義専用のノート・ブックを用意すること。参考文献については随時、講義のなかで示すが、さしあたり(I)の文学史的流れに関して、金子幸彦著「ロシア文学案内」（岩波文庫）、作家論として草鹿・松本ほか著「ロシア文学の世界」（文化書房博文社）、(II)については松本著「ゴーリキイ研究（I）作家への道」（理想社）、同編訳「ゴーリキイ文芸書簡」（全2巻）（光和堂）、ビャーリク著、山村訳「ゴーリキイの運命」（新日本出版社）をあげておく。

## 社会学

非常勤講師 安田 尚

（小樽商科大学短期大学部助教授）

本年度の社会学の講義は、初期マルクスの代表作とされる『経済学・哲学手稿』（1844年）をとりあげます。この著作は、後期マルクスをも貫く思想的原点を確立したものであり、私的所有の批判、労働の疎外、社会主義の理念など、今なお論議の的になっている重要な問題にとりくんだ古典です。本書をめぐる時代状況や論争史的背景にもふれながら、読みくだいていきたいと思ひます。（講義を聴講する学生諸君は、本書を持参のこと）。講義は、以下の構成で行う予定です。

一、『経済学・哲学手稿』の時代背景と論争史的文脈

二、『経済学・哲学手稿』の成立と構成

三、『経済学・哲学手稿』の論理展開

四、『経済学・哲学手稿』の現代的意義

テキスト：カール・マルクス著、城塚・田中訳、『経済学・哲学草稿』、岩波文庫、500円

## 社会思想史

教授 倉田 稔

AとBとの2クラスに分かれる。履修は、どちらをとっても自由です。

Aは、大クラスであり、講義をする。

Bは、小クラスで、その詳細は、始まった時に研究室に来ていただきたい。予定・方針を書いたプリントを渡します。

Aでは、昨年の続きを講義する。昨年度は、19世紀前半までで、終わったので、今年度は、19世紀後半からの、社会思想史、となる。

## 政治学

非常勤講師 田口 晃

（北海道大学助教授）

政治現象及びその認識方法について一通り説明する。具体的な講義内容と教科書とは、追って知らせる。



## 物理学

教授 原田 稔

現代物理学の大きな基礎の一つである量子論についての初等的な解説を行う予定。

## 化学

非常勤講師 木村 雅男  
(北海道大学名誉教授)

現代の化学を系統的に理解し、化学的な物の見方とはいかなるものか把握することを期待している。そのため、化学の基礎原理をできる限り分かりやすく説明し、さらに、現代化学のトピックスを取り上げて化学の現状について話す。各論よりは総論に重点を置く。

教科書 「一般の化学」四訂版 石川清一著 培風館

## 生物学A・B

教授 山田 家正

A・Bの2クラスに分けて行うが、内容が異なるので途中からの変更はできない。下記をよく読んでから履修届を出すこと。

**生物学A**：講義中心の大クラス。前期は主として進化について、後期は生態学的諸問題を扱う。今まで生物学を学んできたか、学ばなかったかはあまり関係なく、生命現象に興味のある人にとって、より深く考える素材を提供したい。教科書は使用しないがプリント配布によって補う。

**生物学B**：演習中心の小クラス。自主的に、積極的に学ぶ姿勢が要求される。具体的な内容については参加人数によって決めるので最初の講義時には必ず出席すること。

**臨海実習**：9月上旬、ウニの受精と発生の観察を北海道大学臨海実験所（小樽市忍路（オショロ）町）で行う予定。A、Bとも全員参加。ガイダンスは夏休み前に行う。再履修者で既に実習を終了しレポートを提出した人は再度参加する必要はない。

## 2 外国語科目

### 英語

○ E100 教授 永原 和夫

John Steinbeck: *The Pearl* (北星堂, ¥950円)

John Steinbeck: *Short Stories by John Steinbeck* (成美堂, ¥850円)

1962年ノーベル文学賞を受賞したアメリカを代表する作家の一人、スタインベックの中篇と短篇小説を読む。どんな理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失う。

○ E101 } 教授 豊国 孝  
○ E102 }

H.E. Bates : *The Daffodil Sky and Other Stories* (北星堂, ¥900円)

D.H. Lawrence: *The Shadow in the Rose Garden* (篠崎書林, ¥750円)

イギリスの小説家ベイツとロレンスの短編小説を読む。 $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失う。遅刻は認めない。

○ E103 } 助教授 君 羅 久 則  
○ E104 }

*Contemporary British Masterpieces* (金星堂)

*Modern British Short Stories II* (英宝社)

○ E105 助教授 鶴 見 精 二

比較的平易な短編を読むことから始めていく。テキストは、*The Mouse and Other Stories* (Macmillan) を使用する。

○ E110 } 助教授 下 村 五 三 夫  
○ E115 }

R. Hudson: *Invitation to Linguistics* (英宝社 ¥1,400円)

出席を重視し、授業時間数の $\frac{1}{3}$ を超える欠席のある場合は試験を受けることができません。遅刻は欠席の扱いです。授業の進め方については最初のオリエンテーションの時に説明します。

(テキストは市内紀伊国屋書店でのみ販売しています)

○ E111 助教授 山 本 久 雄

Text: *All About Language* by Mario Pei (成美堂, ¥950円)

本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては、学生諸君の積極性を重視する。

◦ E112

助教授 津 曲 敏 郎

J.Meyers, V.Johnson: *There's a Reason for Everything*

(マクミラン・ランゲージハウス ¥1,300円)

身のまわりのさまざまな事物の由来をたどる興味深い読み物。英語は平易であるが、正確な読みとことばの背後にある文化への積極的関心が必要である。予習をしたうえでの意欲的な出席を重視する。

非常勤講師 大 島 稔

◦ E113

(小樽商科大学短期大学部助教授)

テキスト

1. Naff & Matsui: *American Lifestyles*. (英宝社, ¥1,300円)

2. J.Kirkup: *Scenes from America*. (成美堂, ¥ 980円)

テキストの内容は、現代アメリカの世相を紹介するエッセイである。前期は教科書の①を用い、毎回2課ずつ進み、聴き取りを通して大意を把握する練習を行い、逐語訳によらない内容理解の方法を身につけてもらいます。後期は、教科書②を用い重要語(句)の選択から自分のことばによる要約へと段階的に進む速読技術の習得をめざします。

◦ E114

非常勤講師 高 井 収

(小樽商科大学短期大学部講師)

Hiroshi Suzuki, Michael Rost & Nancy Baxer: *Basics In Reading*. (Lingual House) ¥1,350

前期は読解力養成の為、テキストの練習問題等を通して基礎的な訓練を行う。語の使い方や文の構成を含めた内容理解のチェックは質疑応答をもって行う。

後期に使用するテキストは未定であるが、例えばボブ・グリーンの評論等を考えている。前期の基礎訓練で得た知識の応用を目的とする。

クラスでは聴解力も並行して重視する。

評価には定期試験の他に出席率と毎回の練習問題等及び質疑応答、討論における積極的な参加を重視する。

◦ E130

助教授 津 曲 敏 郎

神田・井ノ口・G.Gainer. *Courseware for STEP Grades* (南雲堂, ¥1,400)

テープによる聞きとりも含めた、たくさんの練習問題を通して、文法の基本的運用力を養う。毎回 答案の提出を求めるので、出席日数の少ない者や努力のあとのまったく見られない者には単位を認定しない。

◦ E106

非常勤講師 佐 藤 幸 子

(小樽女子短期大学教授)

Donald Keene: *Living in two Countries* (Asahi Press ¥ 980)

日本はこれまで、ひたすら外国の文物を取り入れることによって成長してきたが、これからは日本が外国に日本文化の奥深いところを理解してもらい、日本の良いところを分ち与えることによって、外国の文化をさらに豊かなものにしていかなければならない。「いつか前世において私は日本人であった」かもしれないと述べる程日本文化を愛するキーン氏の本書によって、日本文化を客観的な立場から理解してほしい。内容は日本人の国際性、外国人とのつきあい方、教育の現状、日本語の純粋性など多岐にわたる。出席を重視する。

◦ E116 }  
◦ E117 }

非常勤講師 下 宮 英 治

(武蔵女子短期大学助教授)

Text: Vance E. Johnson, *Today's Changing America* (桐原書店, ¥1,200円)

できるだけ多角的な、英語による“情報の読み取り”の演習を行う。学習の評価については授業開始時に説明する。

◦ E120 }  
◦ E121 }  
◦ E122 }  
◦ E123 }

外国人教師 Michael Carr

Text: Harrison & Menzies, *Orbit 1* (Oxford)

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation are required, and only three unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from roleplays in class and from weekly comprehension tests in the language laboratory.

◦ E124 }  
◦ E125 }

非常勤講師 Mathew M.Hanley

(北海道大学外国人教師)

Text: Provided by the instructor

The aim of this class will be to improve your speaking and listening abilities. We will do this in a variety of situations presented in materials which I will provide. The emphasis will be on functional English. A video series will be included in the curriculum.

Requirements are class participation, attendance, and satisfactory grades on the mid-term and final examinations.

- E126
- E127
- E128

非常勤講師 Pamela Gagliani  
(北海道大学外国人教師)

Text: Provided by the instructor

The aim of this course is to encourage students to communicate in English. Language will be practised in a variety of situations, using group activities, games and video material. Grades will be based on attendance, class participation and the results of the end of year examination.

- E200

教授 永原和夫

Jerome David Salinger: *The Catcher in the Rye* (Eichosha-Penguin Books, ¥1,600)

現代人の断絶感を描き、痛烈な社会批判を行ったサリンジャー唯一の長編小説をかなりのスピードで読む。どんな理由があっても3/4以上出席しない者は受験資格を失う。

- E201
- E202

教授 豊国孝

H.E. Bates: *Colonel Julian and Other Stories* (研究社, ¥760)

D.H. Lawrence: *The Lovely Lady and Other Stories* (成美堂, ¥950)

イギリスの小説家ベイツとロレンスの短編小説を読む。3/4以上出席しない者は受験資格を失う。遅刻は認めない。

- E203

助教授 君羅久則

John Wain: *Hurry on Down* (英潮社新社)

- E204

助教授 鶴見精二

読み込む力と同時に聞いて理解する英語力も重視していく。テキストは、*Dahl's Best Short Stories* (南雲堂) を使用する。

- E205

(前期) 教授 永原和夫

James Joyce: *Araby & Other Stories* (南雲堂, ¥1,100)

ジェイムズ・ジョイスの短篇を読む。どんな理由があっても3/4以上出席しない者は受験資格を失う。

- E205

非常勤講師 佐藤幸子  
(小樽女子短期大学教授)

越智道雄 解説注釈 現代オーストラリア短編集(Ⅲ) 研究社, ¥680

日本はこれまで外国にあこがれつづけてきたが、はじめて外国から日本をあこがれの目で

眺めてくれた国がオーストラリアである。経済的に深いつながりを持つ両国であるが、これからは互いの文化を理解することが肝要である。本書はすべて1930年代以降に生れた作家達の作品である。これまで、すでにある程度の概念は与えられている英米の短編小説とはまた異ったおもむきを持つものである。出席を重視する。

- E206

非常勤講師 西村千稔  
(小樽女子短期大学教授)

テキスト: 江草久司編注『現代アメリカ名作選』朝日出版社, ¥1,200円

アメリカの現代作家数名の短編を読む。特にスタインベックを中心にして、作品に対し自由にコメントするところから洞察力を養うことを授業の目的とする。最初はプリントしたスタインベックの短編から始める。どのような理由があっても、授業実施時間数の3/4以上出席しなければ受験資格を失う。なお、参考文献『スタインベック研究』(八潮出版社)の利用については、授業中に取り扱う。

- E207

非常勤講師 西村千稔  
(小樽女子短期大学教授)

テキスト: 江草久司編注『現代アメリカ名作選』朝日出版社, ¥1,200円

アメリカの現代作家数名の短編を読む。特にスタインベックを中心にして、作品に対し自由にコメントするところから洞察力を養うことを授業の目的とする。最初はプリントしたスタインベックの短編から始める。どのような理由があっても、授業実施時間数の3/4以上出席しなければ受験資格を失う。なお、参考文献『スタインベック研究』(八潮出版社)の利用については、授業中に取り扱う。

- E208

非常勤講師 宮町誠一  
(小樽女子短期大学助教授)

ひとつの土地の自然環境とその土地出身者から生まれた文学作品とは密接な関係があると考えることができる。四季それぞれの自然に託する英国人の感情に触れることによって、英国人の気質を知ることができる。代表的英国詩人による英国の季節感溢れる短詩とその詩に関するエッセーを味読する。必要に応じてプリントを配布する。

テキスト: Peter Milward 編『イギリス名詩選』南雲堂, ¥1,500円

- E209

非常勤講師 宮町誠一  
(小樽女子短期大学助教授)

現代英国小説家の手による短編作品を味読する。内容や主題の理解に力を注ぐと同時に、作品の技法、構成にも関心を向け文学作品としての総合的鑑賞を目指す。

テキスト: G. Greene その他著『最新イギリス短編集』成美堂, ¥730円

◦ E210

助教授 下村 五三夫

Ford & Harrison: *Britain in the 1880s in Words and Photograph*

(¥1,250 英宝社)

出席を重視し、授業時間数の1/3を超える欠席のある場合は試験を受けることができません。遅刻は欠席の扱いです。授業の進め方については最初のオリエンテーションの時に説明します。

(テキストは市内紀伊国屋書店でのみ販売しています)

◦ E211

助教授 山本 久雄

Text: *Language and Culture* by Joan McConnell (成美堂, ¥930円)

本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては、学生諸君の積極性を重視する。

◦ E212 }  
◦ E213 }

助教授 津曲 敏郎

J. McConnell: *Language, a Mirror of Our World* (成美堂, ¥950円)

日常生活のうえで常識として知っておきたい、コトバに関する基本的知識をやさしく述べている。予習と積極的態度が重視される。

◦ E214

非常勤講師 高橋 英光  
(北海道大学助教授)

テキスト: Robert McCrum *et al.*, *The Story of English* (朝日出版社)

英語の歴史的背景と現況を扱ったBBC製作のテキストを読む。3/5以上の出席のない者は受験資格を失う。遅刻は欠席扱いとする。

◦ E215

非常勤講師 鈴木 良克  
(小樽女子短期大学教授)

Lucy R. Garretson: *American Culture -An Anthropological Perspective-*

(開文社, ¥800円)

Dale Carnegie: *Our Mental Attitude* (英宝社, ¥960円)

◦ E216

非常勤講師 鈴木 良克  
(小樽女子短期大学教授)

Lucy R. Garretson: *American Culture -An Anthropological Perspective-*

(開文社, ¥800円)

Dale Carnegie: *Our Mental Attitude* (英宝社, ¥960円)

◦ E217

非常勤講師 根本 慎  
(札幌医科大学衛生短期大学部助教授)

テキスト: R. McCrum *et al.*, *The Story of English* (南雲堂)

◦ E218

非常勤講師 根本 慎  
(札幌医科大学衛生短期大学部助教授)

前期 テキスト: W. U. Solberg, *A History of American Thought and Culture*  
(金星堂)

後期 未定

◦ E220 }  
◦ E221 }

外国人教師 Michael Carr

Text: Harrison & Menzies, *Orbit 2* (Oxford)

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation are required, and only three unexcused absences will be allowed. Grades will be determined from roleplays in class and from weekly comprehension tests in the language laboratory.

◦ E222

非常勤講師 Mathew M. Hanley  
(北海道大学外国人教師)

TEXT: Provided by the instructor

Many intermediate students of English feel that they are not making enough progress. They have studied English since junior high school but have difficulty in understanding and communicating even simple ideas in their first foreign language. If you are one of these students, this course will benefit you. The aim will be to improve your ability to communicate in English in real-life situations. I will provide the situations and materials, but you will have to perform them. The focus will be on speaking and listening. Special emphasis will be placed on practical conversational skills and on listening for specific information. Requirements: class participation and faithful attendance.

◦ E300

教授 永原 和夫

Aldous Huxley: *Brave New World* (Eichosha-Penguin Books, ¥1,600)

ハクスリーは1932年にこの作品をSF小説のつもりで書いた。しかし今日、試験管ベビーや染色体操作は現実のものとなった。科学の将来を考えながらこの文明批判の書を読む。どんな理由があっても3/5以上出席しない者は受験資格を失う。

◦ E301

教授 豊国 孝

D. H. Lawrence: *The Mortal Coil and Other Stories* (Penguin Books)

イギリスの小説家 D. H. ロレンスの小説を読む。3/5以上出席しない者は受験資格を失う。遅刻は認めない。

◦ E302

助教授 君羅 久則

Angus Wilson, *After the Show and Other Stories* (研究社)

Angus Wilson, *A Bit off the Map and Other Stories* (研究社)

◦ E303

助教授 鶴見 精二

昨年度英語Ⅱで使用した *The Penguin Book & American Short Stories* を使い、今年度は、本格的な中篇を読んでいく。また、カセットテープやビデオテープを併用して総合的な力を試していく。

◦ E304

非常勤講師 菊池 昭  
(小樽商科大学短期大学部教授)

Erich Fromm: *Dream Interpretation* (英宝社, ¥ 960)

特に第Ⅱ章を中心に読む。出席状況を重視し、7回以上欠席した者の成績評価はしない。

◦ E310

助教授 下村 五三夫

K. Clark: *Animals and Men* (¥1,400 英宝社)

出席を重視し、授業時間数の3/5を超える欠席のある場合は、試験を受けることができません。遅刻は欠席の扱いです。授業の進め方については最初のオリエンテーションの時に説明します。

(テキストは市内紀伊国屋書店でのみ販売しています)

◦ E311

助教授 山本 久雄

Text: *A Social History of English* by Dick Leith (英宝社, ¥ 1,200)

本授業は、英文読解力の向上及び内容把握を目的とする。単位認定に際しては、学生諸君の積極性を重視する。

◦ E312

助教授 津曲 敏郎

S. Nanda: *What Culture Patterns* (北星堂, ¥ 950)

人間の文化の型を行動・言語・芸術という面から解説した。文化人類学の入門書。やや学術的な文章の読解を通して、人間世界の多様性を知り、客観的なものの見方を養うことができよう。予習が不可欠である。

◦ E313

非常勤講師 片山 厚  
(北海道大学教授)

Ninian Smith: *The Long Search* (英宝社)

素材は、世界のいくつかの宗教について、その成り立ち、特色などを解説したものであって、一種の文化論となっている。

講読を通して、現代英語による評論の読み方に習熟するように努めたい。

◦ E313

(後期) 非常勤講師 大島 稔  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

Douglas Stout: *America: Promises and Problems* (ニューカレントインターナショナル) ¥ 980

現代アメリカ人の意識・価値観を代表する人々を物語風に描いたエッセイである。

段落毎の内容をおおまかに把握し、段落の間における話の展開を追うという作業を通して情報をいかに早く得るかという技術を身につけてもらいます。毎時間のクラスワークを重視しますので、予習を十分にした上で出席するように心掛けて下さい。

◦ E314

非常勤講師 浪田 克之介  
(北海道大学教授)

G. Kingley Ward: *Mark My Words*

読解力の習得を目的として、上記のテキストを読みます。

## ドイツ語 I

I A (火曜日)

非常勤講師 クラウディア・バイル  
(北海道大学外人教師)

教科書：(1) Lernziel Deutsch, Grundstufe I (Wolfgang Hieber著 Max Hueber社  
1983年刊)

(2) Glossar (上記教科書の用語解説)

上記教科書を用いて、初歩的なドイツ語の会話と文法を実践的に学ぶ。生きた言葉話すことに力点が置かれる。真に学習意欲のあるものみの履修を期待する。それ以外の者の履修は極力避けられたい。毎回きちんと出席することが単位修得の前提となる。(欠席する場合には、欠席届を以てその正当な理由を明示すること。)授業の進行上、英語の基礎的知識が動員されることも少なくない。

I A (木曜日)

助教授 大塚 譲

教科書：『三室・シュリヒト 演習ドイツ文法』(三室次雄・Wolfgang Schlecht 著  
三修社)

この文法書は、簡潔な説明と生き生きとした例文と文の運用を中心とした数多くの練習問題とによって、必要最小限の文法項目を、短期間のうちに習得させるところに特徴があります。ともかく、一年目は目をつぶって基本文法の習得にはげみましょう。時々気分転換にビデオをお見せします。落伍者防止の意味で、出席は重視します。

I B (火曜日)

教授 中川 勇治

テキスト：青山、関本、畠中著『ドイツ語10課』 白水社 ¥1,400

I B (木曜日)

非常勤講師 加納 邦光  
(北海道大学助教授)

教科書：「明るいドイツ文法」(中島明彦著、東洋出版)

ドイツ語文法の基礎を学びます。出席は毎回とります。予習をして授業に出るようにして下さい。試験は前期・後期の定期試験期間内に行います。

I C (火曜日)

助教授 大塚 譲

教科書：『ドイツ語基礎コース(日本版)』(Wolfgang Michel, 新保弼彬編, 郁文堂)

この教科書は、ドイツで出版された語学教材 Grundkurs Deutsch (ドイツ語基礎コース) を日本の大学用教科書として編纂し直したものです。生きたドイツ語との格闘を通して、自ずからドイツ語の骨格が身に付くように工夫されています。文法の学習は木曜日の授業に任せて、ひたすら生きたドイツ語に分け入りそれを自ら運用してみることに専念しましょう。

時々息抜きの意味でビデオをお見せします。若武者防止のため出席は重視します。

I C (木曜日)

非常勤講師 吉岡 義彦  
(北海道大学助教授)

教科書は使わないで、授業中にプリントを配布します。

文法を軸にドイツ語の構造を把握し、ドイツ語運用能力の基礎を固めます。教室内での練習が大きなポイントになりますので、出席は特に重視します。

I D (火・木曜日)

講師 寺田 龍男

教科書：『不定句中心 新しいドイツ文法』 吉岡義彦著 白水社 1,400円

この教科書を用いて週に2度の授業を行います。他のクラスより進度が早くなりますが、できるだけ欠席しないでついて来て下さい。この教科書を終えたあとは読解と作文を練習する予定です。

I E (火曜日)

非常勤講師 橋本 聡  
(北海道大学講師)

教科書：『親切的ドイツ文法』(橋本・和田・伊藤著 第三書房)

ドイツ語であれ、何語であれ、外国語を習得するためにはどうしても「語彙」と「文法」とを身につけなければなりません。そして「語彙」の習得については成程かなりの時間と努力を要しますが、幸い「文法」の方は、正味75頁の教科書を1冊仕上げればそれで十分なのです。効率よく「文法」を勉強し、早く次の段階に進みましょう。

I E (木曜日)

非常勤講師 副島 博彦  
(北海道大学講師)

教科書：当分のあいだプリント(教室で配布します)。

ドイツ語の理解・運用の基礎を習得し、ことばに対する意識を鋭くすることを目標に授業を進めます。カラー・マーカーを二色用意してください。

## ドイツ語 II

II A (火曜日)

非常勤講師 クラウディア・バイル  
(北海道大学外国人教師)

教科書：(1) Lernziel Deutsch, Grundstufe I (Wolfgang Hieber 著 Max Hueber  
社, 1983年刊)

(2) Glossar (上記教科書の用語解説)

昨年度に引き続き、この教科書を勉強してゆく。授業の主旨についてはドイツ語 I A (火曜日)の項を見よ。

II A (木曜日)

講師 寺田 龍 男

62年度 I A のクラスの教科書でやり残しを接続法を終えてから、本格的な授業に入ります。このクラスはまず授業を2つのパートに分けます。前半では作文の練習を行い、そこで学んだ文を次の回の後半で暗誦してもらいます。このクラスは火曜日に外国人教師に学んでいる人たちのものですから、そこで役立つような例文を多く用いる予定です。作文については順番を決めるので負担は大きくありませんが、毎回例文を暗記せねばならず、また人前で暗誦する作業を行うので、根気のない人や気の弱い人には参加を勧められません。

II B (火曜日)

教授 中川 勇 治

テキスト：小名木栄三郎編『ドイツ100年の歩み 1848-1945』朝日出版社 ¥1,100

II B (木曜日)

非常勤講師 加納 邦 光  
(北海道大学助教授)

教科書：「グリュック・今日の西ドイツ」(マンフレッド・グリュック著 郁文堂)  
今日の西ドイツを紹介したテキストです。本文や練習問題の予習をして、授業に出るようにして下さい。試験は前期・後期の定期試験期間内に行いません。出席は毎回とります。

II C (火曜日)

助教授 大塚 譲

教科書：当分はこちらで用意したプリントを用います。授業は二つのパートに分かれます。ひとつは、平易でしかもオーソドックスな文(それなりに内容のあるもの)を文法的に性格に読む作業です。今ひとつは、現代ドイツの若者たちの日常を紹介したビデオ教材を用いてそこで使われる生きた日常語の音を聞き、重要な語彙を記憶にとどめ、時には口頭で作文練習をしてみるといった作業です。後者のパートには、また日独(欧)の生活比較という作業が含まれることもあります。

II C (木曜日)

非常勤講師 吉岡 義彦  
(北海道大学助教授)

当分教科書は使わず、授業中にプリントを配布します。講読を中心に読解力の養成をめざしますが、読解力と切り離すことのできない音声の練習も並行して行います。出席を重視します。

II D (火曜日)

講師 寺田 龍 男

教科書：『ミュンヘン』黒崎勇著 朝日出版社 1,300円

これはやさしい教科書です。分量も多くはありません。しかし1年次で学んだ文法の知識を定着させるにはうってつけの本でしょう。ですから単に読むだけでなく、文法事項の確認もおこないます。1年次の教科書も毎回必ず持って来て下さい。

II D (木曜日)

非常勤講師 副島 博彦  
(北海道大学助教授)

教科書：当分のあいだプリント(教室で配布します)。  
既習のドイツ語の知識を確認しながら、読解力の養成を主眼に授業を進めます。まず、文構造をとらえるワーク・ショップからはじめます。カラー・マーカーを二色用意してください。

II E (火曜日)

非常勤講師 橋本 聡  
(北海道大学講師)

教科書：『エンデ・見える音楽——「モモ」より』(郁文堂)  
世界的に読者の多い西ドイツの(児童)文学者 Michael Ende の『モモ』を読みます。また後期も同じ作家の講演原稿を読みます。訳読中心の授業となりますが、いずれも面白く読める内容のドイツ語だと思えます。自分にドイツ語を読みこなす力があるかどうか、試すつもりで参加してください。

II E (木曜日)

助教授 大塚 譲

教科書：当分はこちらで用意したプリントを用います。授業は二つのパートに分かれます。ひとつは、平易でしかもオーソドックスな文(それなりに内容のあるもの)を文法的に性格に読む作業です。今ひとつは、現代ドイツの若者たちの日常を紹介したビデオ教材を用いてそこで使われる生きた日常語の音を聞き、重要な語彙を記憶にとどめ、時には口頭で作文練習をしてみるといった作業です。後者のパートには、また日独(欧)の生活比較という作業が含まれることもあります。

## フランス語 I

I A (火曜日) 非常勤講師 堀田京子  
用書:「丸山フランス語文法読本」(新装版)丸山圭三郎著(早美出版社, ¥1,200)

I A (木曜日) 助教授 江口修  
用書:「標準フランス文法」鈴木・野村著(白水社) ¥1,400

I B (火曜日) 助教授 江口修  
用書:「朝倉フランス語《読本》」(改訂版)朝倉季雄著(白水社) ¥1,200

I B (木曜日) 助教授 高橋純  
用書:「生きたフランス語入門」(三訂版)朝倉剛著(第三書房) ¥1,400

I C (火曜日) 助教授 高橋純  
用書:「ジュテーム」大木充・J. N. Bolot著(駿河台出版社) ¥1,500

I C (木曜日) 非常勤講師 ブリュノ・デュボワ

L. L.: 視聴覚教材を用い簡単な会話・発音練習。教材テキストは《Sans frontiere》です。言語表現は社会的行動様式と結びついたものであるから学生諸君はフランス人の日常生活に関する著作を少なくとも1冊は読むように。なお、クラスでは活発な学生の参加により、楽しい実用的小会話、場面設定による会話構文訓練を行う。宿題を出すので必ずやって来ること。

## フランス語 II

II A (火曜日) 非常勤講師 堀田京子  
用書:「フランスの現在」浜名エレヌ・優美著(駿河台出版社) ¥880

II A (木曜日) 助教授 高橋純  
用書:「ファン・ゴッホ— 絵画と宿命」道躰章弘編(白水社) ¥1,200

II B (火曜日) 助教授 高橋純  
用書:「未知への冒険者たち」野村二郎編(白水社) ¥950

II B (木曜日) 助教授 江口修  
用書:「十課の読物」山岡捷利他著(鍊金社) ¥1,300

II C (火曜日) 助教授 江口修

用書:「ルール・デュ・タン— 読本・作文—」倉方秀憲・Thierry Troude 著(早美出版社) ¥1,300

II C (木曜日) 非常勤講師 ブリュノ・デュボワ

L. L.: 教材は《Sans frontiere》。ビデオを使用して授業を進める。原語の問題意識の自覚と敏感な感覚を養うために、学生諸君はフランス語の作用を理解し、生きた会話による言語表現のよりよい展開に努力すること。家庭学習においてはカセットの使用などで発音に慣れるように。宿題を出すので必ずやって来るように。

### 推薦辞書

- \*多田未知太郎他編「クラウン仏和辞典」(三省堂)
- \*福井芳男他編「プチ・ロワイヤル仏和辞典」(旺文社)
- \*鈴木信太郎他編「スタンダード仏和辞典」(大修館)
- \*井上源次郎他編「新仏和中辞典」(白水社)

## 中国語 I

講師 木之内 誠

中国語は今、巨大な隣国の言葉として、私たちにとっての重大さ、重要さをいろいろの意味で増しつつある。しかし、一部の文字を日本語と共有するとはいえ、その習得は決して他の言語と比べてたやすいとはいえないようだ。一年目の授業では、使える生きた言葉をめざして、舌と耳を使ったトレーニングを着実に積み重ねていこう。

- テキスト: 1. 火曜日 中国語初歩— 閲読・文法編— (白水社)  
2. 木曜日 中国語初歩— 発音・会話編— (白水社)

辞書: 岩波中国語辞典(岩波書店), 簡約現代中国語辞典(光生館), 簡明中日辞典(東方書店)などが、初・中級段階用として推薦できる。詳しくは授業開始時に説明する。

テープをL. L. 教室に備えておくので、各自利用してもらいたい。

## 中国語 II

講師 木之内 誠

外国語を学ぶことの楽しみの一つは、その民族の文化の懐深くへと入っていくための、またとない切符を手にするにある。その意味で、中国語 II では、これまで学んだ基本的な文法事項を復習整理しながら、中国文化への多方面からの接近、理解を進めていくことを狙いとして、この教科書を選んだ。二年次では辞書をこまめに引いてもらいたい。

- テキスト: 1. 火曜日 中国知識課本(白帝社)  
2. 木曜日 中文課本— 応用編— (金星堂)

なお年度の当初は、一年次で使った教科書の残りをやる予定。昨年中国語 I を受講していなかった諸君には、コピーを配布する。



## スペイン語 I

助教授 山田真史

スペイン語の文法、読解、会話の基本を学びます。  
 テキスト、辞書は未定ですが、「文法」と「読本」をそれぞれ一冊ずつ予定しています。  
 他の外国語で単位をとれなかった学生のこの授業への志望変更は受けつけていません。  
 出席を重視しますし、授業への準備が必要です。  
 詳しいことは最初の授業で話します。

## スペイン語 II

助教授 山田真史

テキストは未定ですが、スペインで出版された本を2冊予定しており、それぞれ会話、読解のテキストとなるはずですが。  
 スペイン語Iの単位をとれなかった学生はこの授業には出席できません。出席を重視しますし、授業への準備が必要です。

## ロシア語 I

教授 松本忠司

発音、文法、訳読、作文の基礎的学習。

教科書：ロシア語16課 16 УРОКОВ РУССКОГО ЯЗЫКА 新田実著 白水社  
 ほかに、学習の進度に応じ、プリント刷りのテキストを配付する予定。

辞書：現在市販のものにはそれぞれ長短があるが、次のうち一点はぜひとも用意すること。  
 ただし、初年度の前半ぐらいは辞書に頼るよりも、単語帳を自分で丹念に作るほうが、はるかに確実な学習効果を生むであろう。

八杉貞利編 岩波ロシア語辞典

木村彰一編 博友社ロシア語辞典

井桁貞敏編 コンサイス露和辞典(最新の改訂版)

ロシア語の背景世界を知るために、東郷正延編「ロシア・ソビエトハンドブック」(三省堂)をすすめる。歴史、文学史、地誌、ことわざ、文法、市民生活案内などの簡略辞典としても役立つ。

## ロシア語 II

教授 松本忠司

文学作品(詩、小説、戯曲、評伝、回想記)および社会科学関係論文・新聞論説などの講読に大半の時間を充当することになるが、文法のより深い学習、作文練習も併せて行なうので、専用のノート・ブックを用意すること。テキストはプリント刷りの予定。参考までに記すと、昨年度のテキストの主要なものは、ロシア詩選、チャーホフの戯曲「三人姉妹」、ゴーリキイの回想記「ア・ペ・チャーホフ」、経済学論文「パレストロイカと企業」であった。

## 3 保健体育科目

### 体育講義

教授 大竹信三郎

人の「病気」は医学の問題であるが、人の「健康」は医学が関与する対象があると同時に、自然環境、公害問題、生活習慣・環境など社会生活にかかわる要因が絡んでいる。更に健康の概念を、単に身体を精神的あるいは肉体的な疾病・異常から護るという考え方からだけではなく、「健康」を人生観や人間形成と直結した問題として論じる。

医学の面では、人体の生体反応のしくみ、疾病構造の変化、なかでも成人病、心身症、免疫やアレルギーにもとづく疾患、更に喫煙による健康障害、性行為感染症、急性アルコール中毒などの事柄等も含める。

また、社会生活等の環境因子による影響たとえば、ストレスや栄養をはじめ、生活リズムの乱れ、運動不足などによる異常、精神障害等大学生活にかかわる問題につき言及する。従って、日常生活における健康管理すなわち、疾病予防に必要な医学常識とその実際的対応に加えて、精神的、身体的かつ社会的にも健全な人間を育成する自己管理のあり方につき述べる。

## 体育実技 I・II

教授 杉山 登正  
 教授 藤江 正  
 助教授 田野 有一  
 講師 中川 喜直  
 非常勤講師 中川 平悟  
 (小樽商業高等学校教諭)

### I 体育実技の履修について

体育実技は必修科目であり、各自所定の時間に出席しなければならない。本学では1年目で毎週2時間(60時間)、2年目は前期・後期各2時間(30時間)のうち、いずれかを選択履修することになっている。

体育実技実施種目は必須種目と選択種目とからなり、必須種目として1・2年目とも体力診断テスト、トレーニング法の実践、水泳、スキー等を行う。ただし、2年目では水泳かスキーのいずれか1種目をとらなければならない。

また、選択種目としては下記Ⅲにあげた種目中より、1・2年目とも1種目を選択履修し、1年目については後期で、2年目についてはこの種目を前・後期のいずれかで選択履修するものとする。

### II 必修実技種目とその内容

#### (1) 体力測定

体力診断テスト……反復横とび、垂直とび、背筋力、握力、伏臥上体そらし、立位体前屈、踏み台昇降運動

以上の7種目で、測定実施時期は、第1回目は春季、第2回目が秋季である。体力の優劣判定は、文部省体育局のテスト判定基準により、総合点によってA・B・C・D・Eに区分されるが自己の体力の現状を把握しておくことが肝要である。

#### (2) トレーニング

トレーニング法とその実際について知っておくことは、学生生活および社会生活を営むうえで体力の維持増進をはかる場合に極めて大切なことである。ここでは体力づくりのための一般的トレーニング法、器具器材使用法、トレーニング処方等について実習し、授業時間外でも自分で処方し、自発的に継続実施できるようにもってゆきたい。

#### (3) 水泳

自己安全管理の一環として、水からの事故防止のため水泳技術を修得しておくことは極めて大切なことである。指導段階の区分として都合上、4班に分け、各班ごとに下記の内容で実施する。技術修得の過程で班を移動する者もある。実施期間等については、おって掲示等により通知する。

### <水泳実技内容>

区 分	実 技 種 目	テスト種目(泳法・距離泳)
初級グループ	・立ち方、背浮き、立ちとび込み、伏し浮き、簡易泳法、体位変換	・背浮き、伏し浮きからの立ち方…泳法 ・簡易泳法で10m以上…距離泳
中級A・Bグループ	・クロール、平泳ぎ ・背泳ぎ、横泳ぎ ・逆とび込み、潜行、ターン	・泳法2種選択…泳法 ・1種目で25~50m…距離泳
上級グループ	・クロール、平泳ぎ、逆とび込み、背泳ぎ、バタフライ、潜行、横泳ぎ、ターン	・泳法3種選択…泳法 ・1種目で50m以上…距離泳

#### (4) スキー

室内に閉じこもりがちな雪国の生活において、自然に親しみながらスキー技術を習得することは、冬季体育の一環として、また将来の社会生活をたのしく健康的なものとするためにも極めて有意義である。1・2年を通して指導段階の区分として都合上、4班に分け、各班ごとに下記の内容で実施する。実施時期等については、おって掲示等により通知する。

### <スキー実技内容>

区 分	実 技 種 目	テ ス ト 種 目
初級グループ	*歩行、滑走法、方向変換 *転倒法、登行法、直滑降 *プルーク・ボーゲン *シュテム・ターン	*プルーク・ボーゲン *シュテム・ターン
中級A・Bグループ	*プルーク・ボーゲン・横すべり *斜滑降、シュテム・ターン *パラレル・ターン	*シュテム・ターン *パラレル・ターン
上級グループ	*パラレル・ターン *ウェーデルン、発展技術	*パラレル・ターン *ウェーデルン

### III 選択実技種目とその内容

1年目後期…バスケットボール、卓球、バドミントン

2年目前期…ソフトボール、卓球、バドミントン

3年目後期…バスケットボール、卓球、バドミントン

### IV 必須実技種目理論

必須実技種目については、各々講分をする予定であるが、その内容、日時に関してはおって通知する。

### ◆トレーニング基礎理論(1年目)

助教授 田 野 有 一

#### ・トレーニング

今日では“トレーニング”とか“練習”とかいった言葉は実に曖昧，無雑作に用いられ，逆にいえば，それだけ便利な言葉であるといえないこともない。本論では，これらの言葉の意味するものからくりを，体力づくりの必要性とその要素を分析することからはじめ，以下，スポーツと科学，トレーニングと科学，年齢とトレーニング，競技力と体力，筋力・持久力のトレーニング，スピード・パワーのトレーニング…等の基礎知識を得ることによって，「トレーニングの種類とその方法」を探ろうとするものである。

### ◆水泳基礎理論(1年目)

教授 杉 山 登

- 1 現代と水泳
- 2 水泳の基礎的技術要因
- 3 競泳の技術的要因
- 4 基本泳法解説
- 5 水泳の安全管理

### ◆スキー基礎理論(1年目)

教授 藤 江 正

- 1 スキー概説
- 2 スキーの技術的な要因
- 3 スキー技術の組み立て
- 4 スキーの操作と身体の使い方
- 5 スキーの安全管理

## 4 基礎教育科目

### 経済学概論 A

助教授 鶴 沢 秀

#### (1) 受講資格

経済学概論 A は，学生番号88001から88210までの1年次生と，2年次以上の学生で選択する者に限って履修を受け付けます。

#### (2) 議義の内容

下記をテキストとして，マクロ経済学およびミクロ経済学の主要内容について述べる予定です。

概要：1. なぜ経済学を学ぶのか

2. マクロ経済学とは

3. 有効需要(その1)：基礎理論

4. 有効需要(その2)：応用

5. 貨幣の機能と信用創造

6. 資産選択と貨幣需要

7. 財政・金融政策のメカニズム：IS-LM分析

8. 消費者行動と需要

9. 費用の構造と供給行動

10. 市場取引と資源配分の効率性

11. 独占の理論

12. 財政政策のマクロ分析

13. 総需要と総供給：物価の決定

14. インフレーションと失業

15. 市場の失敗と補正

16. 企業と産業の経済学

17. 消費者行動の理論

18. 国際貿易と海外直接投資

19. 国際金融と国際マクロ経済学

#### (3) 教科書

伊藤元重著『入門！経済学』（日本評論社，1988年）。

### 経済学概論 B

(前期) 助教授 佐 竹 正 夫

(後期) 助教授 松 井 均

18世紀の終わりにイギリスで生まれ，欧州大陸に広まって彫琢をうけた経済学は，第2次大戦後は主にアメリカで発展しました。欧米を中心に展開した経済学が，日本をはじめとする東アジアの経済発展を背景に，今後どのような変貌を遂げていくのかは興味のあるところで

す。それはさておき、経済学は私達が生きている社会や世界がどのように動いているかを明らかにし、当面する様々の経済問題を解決することを目的としています。まわりの世界をより良く理解することは、過去や現在を知るためだけでなく、将来を見通す上でもたいへん大切なことです。

経済学は今日では、個々の経済主体の行動を分析するミクロ経済学と、経済全体の動きを観察し分析するマクロ経済学とに分れています。本講義もこの伝統に従い、前期にミクロ経済学、後期にマクロ経済学をとりあげます。ミクロ経済学は別名を価格理論といい、商品やサービスの価格がどのように決まるのかを検討することが課題です。需要と供給という概念が基本的な考え方になりますが、その背後には家計や企業の活動があります。

マクロ経済学では、一国のGNPがどのようなメカニズムで決まるか、政府や中央銀行の行動がGNPの大きさをどのように左右するか、輸出や輸入とGNPはどのような関連を持つか、等の問題を扱います。いずれも経済学の入門として、具体的な例を多くあげ、基本的な話をするつもりです。

テキスト：伊藤元重『入門経済学』日本評論社、昭和63年（前期：第1章、第8章～第11章、後期：第2章～第7章）

## 商学概論

(前期) 非常勤講師 片桐 誠士

(小樽商科大学短期大学部教授)

(中期) 教授 篠崎 恒夫

(後期) 教授 久野 光朗

商業学科商学コースは大別して、商学・経営学・会計学の3部門より成り立っている。この3部門は歴史的・理論的に互いに、どのような関連性を有しているのだろうか。商学概論なる授業科目は、商学コースで準備されている3部門のうち、いずれを選んで主要研究対象にするかを決定する際の予備知識を与える任務をも背負っている。商学概論の役割はそれだけではない。現代資本主義の生成・発展の過程で、商学、経営学および会計学の各部門の学問体系がどのような必然性をもって生まれきたり、発展せしめられて今日の姿なり体系を為すようになったかを解明するのが、むしろ本来の役割であろう。

時代の要請に応じて各部門はそれぞれが主となり従となって、お互いに影響しあいながら発展してきた事実を念頭におきながら部門別に以下の内容をもって概論を行うことにする。

### I 商学部門 (4月～6月末) 担当 片桐 誠士

1. 経済生活と商業——交換ないし商品流通の歴史的展開
2. 商業学説
3. 資本制社会と商業
4. 商業の分化

(参考文献は随時指示する)

### II 経営学部門 (7月～10月末) 担当 篠崎 恒夫

1. 商の発展と資本の成立

2. 企業形態の展開

3. 株式会社

4. 管理の形成

(参考文献は随時指示する)

### III 会計学部門 (11月～2月末) 担当 久野 光朗

最初の授業でガイダンスを行い、参考書の紹介などもいたしますが、教養としての会計—会計学を講述したいと思います。講義内容は、おおむね次のようになります。

- I 会計情報の利用者と会計情報の分析

- II 会計情報の提供者と会計情報の生産

- III 会計情報の提供者と経済事象の認識

主要参考書：

高田正淳編著、『テキストブック会計学(1)会計学総論』(有斐閣, 1982)

参考書：

青木茂男、『会計学総論』(中央経済社, 1978)

染谷恭次郎、『会計学』(中央経済社, 1978)

神戸大学会計学研究室編、『会計学基礎論』(同文館, 1985)

久野光朗編著、『簿記論講義』(同文館, 1986)

神戸大学会計学研究室編、『第4版会計学辞典』(同文館, 1984)

森田・宮本編著、『会計学辞典』(中央経済社, 1983)

## 法学概論

(前期) 非常勤講師 猪股 弘貴

(小樽商科大学短期大学部助教授)

(後期) 助教授 和田 健夫

こんにちの社会生活は、多岐多面にわたって複雑きわまるものとなっているのにつれ、これを規律する法に関する法学は、外延的には大きな広がりを持ち、内包的には細かく専門化している。法は学ぶべくして親しみがたいといわれる。しかし、法的知識を身につけることは、市民生活にとって不可欠のものであり、また法的な論理的思考方法を学ぶことは、経営法学コースを選択する者のもとより社会科学を専攻する者にとって有益であろう。本講では、法領域の全般にわたって、できる限り具体的事例をとりあげて講義する。

講義内容は下記のテキストを用いて、前期では総論的部分と公法領域について、後期では私法および社会法領域について扱う予定である。

テキスト：末川博編『新版法学入門』有斐閣双書

法令集および参考文献：最初の講義の際に紹介する

## 管理科学概論

(前期) 教授 樋口 透

(後期) 教授 沼田 久

この講義の目的の1つは、学生諸君に管理科学についての正しいイメージを形成してもら

うことである。

〔前期〕

1. OR (Operations Research) の歴史
2. OR の考え方
3. コンピュータとOR
4. 意思決定過程
5. システム・シミュレーション
6. 日程計画

レポートを5編ほど提出してもらおう。レポートは成績評価のデータに最大30%程度使用いたします。

参考文献：沼田 久『マネジメント・サイエンス』（富士書院）

〔後期〕

スケジューリング問題、経済性分析、動的計画法、線形計画法、ゲームの理論、輸送問題、巡回セールスマン問題、最適停止問題、グラフ理論などの講義を通じて、管理科学の考え方を身につけてもらおう。

教科書：沼田 久『マネジメント・サイエンス』（富士書院）

**数 学** (前期) 教授 白 川 寛  
(後期) 助教授 兼 岩 龍 二

数学の授業は下記のクラス編成により行われる。1年生のクラス所属は備考欄を見ること。2年生以上のクラス所属は自由である。

	クラス	前 期	後 期	コース	備 考
2 講 目	S 1	兼 岩	白 川	微 積 コ ー ス	学生番号 88001 ~ 88200 で2 講目受講を希望するもの。
	S 2	白 川	兼 岩		学生番号 88201 ~ 884** で2 講目受講を希望するもの。
4 講 目	S 3	兼 岩	白 川		4 講目受講を希望するもの。
	S R	白 川	兼 岩	微積・論理コース	微積・論理コースの受講を希望するもの。

I. コース

(1) 微積コース (S 1, S 2, S 3)

一変数及び多変数の微分積分を行う。

テキスト：解析入門 渡部隆一著 培風館 1300円

(2) 微積論理コース (S R)

微積コースと同様の内容を手短かに前期で済ませ、後期に記号論理をあつかう。後期は定期試験なしでレポートを課す。

テキスト：前期は微積コースと同じテキスト使用、後期は：記号論理学入門 前原昭二著 日本評論社 1800円

II. テキストの紹介

(イ) 解析入門 (このテキストは高校の「数学 I」を予備知識として理解できるように書かれている。) 目次

1. 数列 2. 初等関数 3. 微分法 4. 積分法 5. 曲線と曲面
6. 多変数の関数 7. 複素数とその関数

(ロ) 記号論理入門 目次

1. 論理記号による命題の表現法 2. 演繹 3. 真理値 4. トートロジー
- その他

## 5 専門教育科目

### 統計学

教授 遠藤 薫

講義内容：1. 記述統計（度数分布，回帰分析，指数）  
2. 推測統計（確率分布，推定，検定，回帰関係の推定と検定）

参考書：(1) 森田優三『新統計概論』日本評論社  
(2) 森田優三・久次智雄『演習統計概論』日本評論社

### 数理統計学

教授 久次智雄

2年次の「統計学」で扱った各種の手法の基礎となる数理を明らかにし，さらにその他の手法・考え方について講義する。

講義内容 確率変数（補論），標本統計量の分布，線形代数（補論），多変数正規分布，回帰分析・分散分析の基礎，推定・検定論の基礎，多変量解析，ベイズ的推論など。

参考書：岩田暁一『経済分析のための統計的方法』（第2版）東洋経済新報社。

その他

- (1) プリントを用いる予定。
- (2) 1年次の「数学」，2年次の「統計学」および「応用数学（代数）」は履修済みであるとして講義を進める。
- (3) 欠席・遅刻等をしていると単位修得が困難になるのでその点に留意してほしい。

### 経済統計学

助教授 本間正義

経済統計学の目的は経済理論と統計の双方を用いて現実の経済現象を分析することである。経済理論を検証するにはどのようなデータがとられ，いかなる統計的手法が用いられるのか，経済全体の流れを把握するにはどうすればいいか，また現実のデータの観察からどのような経済理論が生まれてきたか，等について講義する。理論および方法を理解した上で，現実の日本経済の動きを各種の統計を通じて分析できるようになることを目標とする。

講義内容：

1. 経済変数と統計データ
2. 経済理論と統計分析
  - (1) 消費関数
  - (2) 生産関数
  - (3) その他
3. 日本経済の統計的把握
  - (1) 国民所得と国民経済計算
  - (2) 産業連関分析
  - (3) 労働市場と失業率

- (4) 貿易構造と国際収支
- (5) その他

参考書：(1)中村・新家・美添・豊田『経済統計入門』東大出版会  
(2)篠原三代平編著『日本経済講義』東洋経済新報社

### 経済原論 I

助教授 今喜典

マクロ経済学を基礎から中級レベルで講義する。

講義内容

1. マクロ経済学の課題
2. 経済循環とその測定——GNPとはなにか
3. 有効需要の原理——大不況とケインズ
4. 投資と利子率——IS・LM分析
5. 消費，投資，貨幣について詳論
6. 物価水準と総供給
7. インフレと失業——ケインジアン・マネタリスト・新しい古典派
8. 景気変動と経済成長

テキスト

早見弘・鶴沢秀・若林信夫・今喜典・佐竹正夫共著『現代経済学講義』中央経済社，1986.

参考文献

Dornbusch, R. and S. Fischer, *Macroeconomics*, 4th ed. McGraw-Hill (International Student Edition), 1987.  
黒坂佳史・浜田宏一『マクロ経済学と日本経済』日本評論社，1984.

### 経済原論 II

助教授 山本賢司

この科目では，3年次以降の経済学諸科目に対する基礎を与えることを目的として，中級レベルでのミクロ経済学を解説します。

概要：1. 単純な部分均衡分析

2. 消費者行動の理論
3. 企業行動の理論
4. 生産物市場における価格の決定
5. 生産要素市場における価格の決定
6. 不確実性のもとでの経済行動
7. 資産価格の決定
8. 一般均衡分析とその応用
9. 市場均衡と経済的厚生
10. 市場の失敗
11. 競争的均衡分析の限界——不完全競争の理論

## 12. 情報の経済分析—いくつかのトピックス

教科書： 西村和雄著「ミクロ経済学入門」（東京：岩波書店，1986）

参考文献： 講義内容に近い他の文献として、次の2冊を挙げておきます。

Nicholson, Walter; *Microeconomic Theory: Basic Principles and Extensions*, 3rd ed. (Chicago: The Dryden Press, 1985)

Quirk, James P.; *Intermediate Microeconomics*, 2nd ed.

(Chicago: Science Research Associates, Inc., 1983)

試験： 3回の試験を予定しています。

クイズ： 随時、行います。

成績評価の基準： 概ね、試験とクイズの結果にそれぞれ60%、40%のウェイトを置きます。

### 経済学特殊講義

非常勤講師 橋木俊詔  
(京都大学教授)

本講義の目的は、日本の労働市場の特色を講義することにある。特に欧米諸国と比較して日本の労働市場のもつ特色を比較検討し、かつ経済学的分析としてどのようなものがあったかを講義する。労働経済学の入門コースとしての目的も果たしたため、労働経済学を概説的に講義したいとも考えている。基礎的な知識として経済概論程度の初歩的なものが備っておれば充分である。

教材は当日配布する。

### 経済原論Ⅲ

非常勤講師 花田功一  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

日本は今、財政危機と貿易摩擦（円高）のために文字どおり綱渡りの経済運営を強いられています。そして、これら二つの危機要因が私達の生活に様々な困難を生み出しています（景気停滞、福祉切り捨て、増税、失業、賃金切り下げ等々）。

ところで、これら財政危機と貿易摩擦（円高）が生ずる根本には資本主義の本質から生ずる全般的過剰生産恐慌があります。資本主義に不可避なこの全般的過剰生産恐慌を資本主義経済をそのままにして人為的に無理になくそうとすることから財政危機や貿易摩擦（円高）が発生するのです。だから、現在の日本経済を根底から理解するためにはこの全般的過剰生産恐慌が資本主義のもとではなぜ発生するのか、なぜそれは資本主義にとって不可避的なのかを理解しなければなりません。そして、マルクス『資本論』の最終目標はまさにこの点の解明にこそあったのです。

以上の様な問題意識と『資本論』理解にたつて、全般的過剰生産恐慌がいかに発生するのかの解明を軸としてマルクス『資本論』の基本論理を説明します。

参考文献

松石・岡本編『経済原論講義』，有斐閣

平井・北川・滝田『経済原論』，有斐閣

井村喜代子『恐慌・産業循環の理論』，有斐閣

### 計量経済学

教授 遠藤 薫

エンゲル曲線，需要関数，生産関数，需要供給モデル等の推定および系列相関，分散不均一，多重共線性，識別の問題について講義する。

参考書

佐和隆光『数量経済分析の基礎』筑摩書房

馬場正雄編『計量経済学入門』有斐閣双書

ウォルターズ『入門計量経済学』（上・下）東洋経済新報社

レッサー『初等計量経済学』東洋経済新報社

黒田昌裕『実証経済学入門』日本評論社

### 経済史概論

教授 井上 巽

比較経済史の視角からイギリス・フランス・ドイツおよびアメリカの史実を素材として、経済史の基礎理論を論述します。講義内容はつぎのような編成の予定ですが、後に若干の変更があるかも知れません。

序章 経済発展段階に関する諸説

第一章 封建制の経済的基礎

第二章 封建的危機の経済構造

第三章 市民革命の諸類型

第四章 重商主義の理論と政策

第五章 産業革命と資本主義の確立

テキストは使用せず、講義ノートを中心に論述します。参考文献は必要に応じてそのつど指示しますが、当面、松田智雄編『西洋経済史』（青林書院新社），大塚久雄・高橋幸八郎・松田智雄編『西洋経済史講座』Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ（岩波書店）をあげておきます。

### 日本経済史

非常勤講師 田中 慎一  
(北海道大学助教授)

わが国の経済史研究をいざいざ，推進する力となった論争をいくつか取りあげ，論争を中心にして日本経済史を考えてみることにする。

また，学問の世界により接近するため，独創的な日本経済史研究として定評のある著名な労作に直接ふれ，できるだけ精読にこころがけてもらいたいと考えている。

したがって，下記のテキスト2冊は受講者が必携すべきものである。

1. アジア的生産様式論争

2. 太閤検地論争

3. マニュファクチュア論争

4. 日本の地主制

- 5 明治維新の歴史的性格
- 6 日本の産業革命
- 7 日本帝国主義の成立
- 8 国家独占資本主義論争
- 9 日本ファシズム

テキスト：①長岡新吉・石坂昭雄編『一般経済史』（ミネルヴァ書房）

②安良城盛昭『幕藩体制社会の成立と構造』（増訂第4版，有斐閣）

参考文献：講義の進行にあわせて指示する。

## 経済政策

非常勤講師 小野 浩  
(北海道大学教授)

初歩的な経済学，特にミクロ経済学の知識を前提にして，応用ミクロ経済政策について講義します。より具体的に言えば，厚生経済学および公共経済学（時間が許せば，産業組織論）の分野より，市場の失敗や公的部門の資源配分に関する話題を中心にとりあげます。説明は平易であることを旨としますが，財政学および経済原論Ⅱ（ミクロ経済学）の履修は理解を助けるものと思います。

1. 市場交換とパレート最適
2. 社会的厚生関数とパレート最適
3. 最適所得分配
4. 最適課税理論（間接税及び所得税）
5. 外部性と市場の失敗
6. 公共財とリンダール均衡
7. 只乗りとインセンティブ・メカニズム
8. 便益－費用分析
9. 補償原理
10. 社会保障制度の経済分析Ⅰ－公的扶助と負の所得税
11. 社会保障制度の経済分析Ⅱ－医療保険
12. 社会保障制度の経済分析Ⅲ－公的年金
13. 公債帰着論
14. 費用逓減産業と独占禁止政策
15. 公企業論と各種の料金設定

[参考文献]

レイヤード＝ウォルターズ共著『ミクロ経済学』（創文社）

野口悠紀雄『公共政策』（岩波書房）

バリアン『ミクロ経済学』

村上雅子『社会保障の経済学』（東洋経済）

岸本哲也『公共経済学』（有斐閣）

## 工業経済学

非常勤講師 吉武清彦  
(釧路公立大学経済学部長)

- I 産業構造の意義
- II 技術進歩
- III 工業化と都市化
- IV 独占と競争
- V 独占対策
- VI 二重構造論
- VII コンピュータ社会の展望
- VIII 社会資本論

文献

篠原三代平『産業構造論』（筑摩書房，第2版，経済学全集18）

宮沢・新野・斉藤『現代日本経済論』（有斐閣選書）

両角良彦『競争と独占の話』（日経文庫）

森谷正規『技術強国・日本の挑戦』（PHP研究所）

江見康一・塩野谷祐一『日本経済論』（有斐閣双書）

岩波編集部『科学技術の開発と新しい社会』（1983年 岩波）

石井威望『コンピュータ社会』（講談社）

石井威望『超電導で富士山時代』（交響春秋社）

注 講義の内容及び順序について若干の変更が生ずることがある。

## 財政学

教授 早見 弘

財政学は政府の統治行為の貨幣収支を対象とする応用経済学の一分野である。通常，一般政府は以下の予算制約のもとで収支の調整を行っている。

政府の財・サービスの購入＋社会保障支出＋公債費

= 所得課税＋消費課税＋資産課税＋公債収入

したがって，講義の主内容は上記の諸項目にそって述べることになる。その予定は以下の通りである。

1. 政府の経済的役割
2. 財政規模の拡大
3. 市場の失敗，公共財，政府の失敗
4. 所得課税論：(1)個人所得税 (2)法人所得税 (3)企業課税と財務政策 (4)キャッシュ・フロー課税
5. 消費課税論：(1)間接税の諸方式 (2)生涯消費課税
6. 資産課税論：(1)相続税 (2)固定資産税
7. 公債と公債「負担」論



## 8 租税体系と租税政策の制定基準

参考文献：拙著『財政学』（同文館，1980年）。

貝塚啓明著『財政学』（東大出版会，1988）。

その他，講義中に配布するプリント。

## 国際経済論

助教授 船津秀樹

本講では，国際経済学の理論と応用について解説し，国際経済をめぐる諸問題について理解を深めることを目的とします。

- I. 国際経済学の方法
- II. 国際貿易理論
- III. 生産要素の国際間移動
- IV. 国際貿易と不完全雇用
- V. 国際収支の理論
- VI. 国際貿易と不確実性
- VII. 経済統合と南北問題

参考書：Wilfred Ethier, *Modern International Economics* (W. W. Norton & Company, Inc. 1983)

## 貿易政策

助教授 佐竹正夫

貿易政策の基本的な問題は，どのような場合に政府が貿易に介入することが正当化されるか，ということです。正しいかどうかは，ある価値基準に基づいて判断されますが，政府の貿易政策が認められないとするのが自由貿易主義であり，認めるのが保護貿易主義といってもいいでしょう。本年度はこの基本的な問題を中心にして，講義を進めます。内容は以下の通りです。

### I. 貿易政策の手段と経済的効果

- (1) 関税
- (2) 輸入割当
- (3) 輸出自主規定
- (4) ダumpingと補助金

### II. 自由貿易主義と保護貿易主義

- (1) 市場の歪み
- (2) 最適関税論
- (3) 幼稚産業保護論
- (4) 調整過程
- (5) 安全保障と貿易

## 金融経済論

助教授 今喜典

現代の金融を理解するために必要な概念と分析用具をできるだけ体系的に講義する。応用経済学としての性格から，マイクロ経済学的考えが基礎となり，また後半ではマクロ経済学的見方も用いられる。ただし必要な理論はそのつど説明する。

現在のわが国は，金融の自由化・国際化などにみられるように大きな構造変化の時期にある。講義では，わが国の金融制度と構造の検討もおこなう。本年度は，「銀行」を重点的にとりあげる予定である。

### 講義内容

1. 貨幣経済の特質と金融の機能
2. わが国の金融構造
3. 家計と企業の金融行動
4. 銀行行動——金融仲介と貨幣供給
5. 金融市場の均衡分析
6. 金融部門と実物部門

テキストは使用しないが，次の参考文献が有用である。

今喜典『銀行行動の経済分析』，東洋経済新報社，1987。

岩田規久男・堀内昭義『金融』（スタンダード経済学シリーズ）東洋経済新報社，1983。

## 金融政策

助教授 坪沼秀昌

近年の日本の金融構造の変化を踏まえながら，金融政策の目的，手段，及びその有効性についてマイクロ及びマクロの両面から考える。講義内容としては次のものを予定する。

- ・金融資産と金融市場
- ・銀行行動と貨幣供給
- ・貨幣供給と国民所得及び物価の関係
- ・金融政策運営のあり方

### 参考文献

館龍一郎『金融政策の理論』東京大学出版会，1982年。

岩田規久男・堀内昭義『金融』東洋経済新報社，1983年。

堀内昭義『日本の金融政策』東洋経済新報社，1980年。

日本銀行金融研究所『〈新版〉わが国の金融制度』日本信用調査株式会社，1986年。

## 国際金融論

助教授 松井均

### 第I部 総説

1. 国内決済及び国際決済の仕組み
2. 中央銀行の外国為替市場介入
3. 国際収支と対外債権・債務

## 第Ⅱ部 市場経済的側面

4. 貿易金融
5. 先物為替取引
6. ユーロ預金市場
7. ユーロ・ボンドと金融スワップ取引

## 第Ⅲ部 通貨外交的側面

8. IMF一般融資メカニズム及び特別融資制度
9. SDR問題
10. EC通貨同盟の運営メカニズム

### 参考文献

『外国為替読本（第2版）』東京銀行調査部編，東洋経済新報社，1985年。

『新訂・国際金融機構』滝沢健三著，文雅堂銀行研究社，1985年。

その他の参考文献は講義中にその都度示す。

## 流通組織論

非常勤講師 片桐 誠 士  
(小樽商科大学短期大学部教授)

商品流通の歴史的な流れを体系的にあとづけたうえで，資本制商品流通の特質を明らかにし，とくに現代の商品流通組織について詳細な考察を行う。

1. 交換ないし商品流通の展開
2. 自由競争段階の資本制商品流通組織
  - (1) 商業資本の自立化
  - (2) 商業利潤と商業労働
  - (3) 商業資本の分化
  - (4) 商業資本の無機能化
3. 現代の流通組織
  - (1) 商業資本の量的変化
  - (2) 商業資本の排除，系列化
  - (3) 商業資本の質的变化
  - (4) 現代流通組織

基準的テキストとして，森下二次也著「現代商業経済論」（有斐閣）を使用する。なお参考文献は講義の中で適宜指示する。

## マーケティング

講 師 高宮城 朝 則

マーケティング論の中心的領域であるマーケティング管理に焦点をあて，マーケティングの基本的概念，その意思決定の性質ならびに環境との相互作用について，具体的事例をまじえて講述する。

講義項目としては以下のことを予定している。

1. マーケティングの基礎概念
2. マーケティング管理の枠組
3. マーケティング戦略
4. 消費者行動分析
5. 製品計画・製品戦略
6. 価格政策
7. 販売促進
8. 流通経路
9. マーケティング組織
10. マーケティング・リサーチとマーケティング情報システム

テキストおよび参考文献については，追って指示する。

本講義の履修者は「流通組織論」も併せて履修することが望ましい。また，本講義では不定期に小テストを実施し，これを出欠に代えるので，履修者は注意すること。

## 貿易論

助教授 森 田 憲

本年度の講義は東西経済関係に焦点をあててみることにする。

よく知られているように，東西貿易の規模はその潜在的可能性に比べて小さなものにとどまっている。それはいったいなぜであり，関係各国のどのような外交戦略にもとづくものなのか，を中心に考えてみることにしたい。

講義は次のような順序ですすめられる予定である。

1. 東西経済関係の回顧。
2. 東西貿易の現状。
3. 東西貿易をめぐる諸問題。
4. 東西貿易の展望。

教科書は使用しない。参考文献は講義の中で適宜指示する。

## 商業英語

非常勤講師 北 村 正 司  
(小樽女子短期大学長)

外国貿易の流れを体系的に展開し，貿易実務と英語商業通信文を統一的に講述し，実務に関する基礎的な知識の修得と商業英語の読解力および表現力の養成をはかりたい。

1. 英語商業通信文の構成と形式
2. 取引関係の樹立
3. 売買契約の成立
4. 売買契約の履行
5. 電報とテレックス

なお文部省認定実用英語技能試験1級及び準1級に関する指導を加えたい。

テキスト：中村新吾「模範貿易英語」東洋経済新報社

## 証券市場論

助教授 青山和司

現在の証券市場は、「財テク」「マネー・ゲーム」という言葉に象徴される旺盛な投機活動の中心舞台となっている。この背景として、実体経済の停滞に起因する企業の余裕資金が、投機利潤を目的として証券市場に大量に流入したことがあげられる。こうした過剰な貨幣資本を背景として、近年の世界的な株高現象が引き起こされたが、昨年11月に世界の株式市場を襲った株価の暴落は、こうした投機活動の限界を示したものと言える。

そこで、こうした現代証券市場の問題点に留意しつつ、次の順序で講義を行う予定である。

- I. 証券制度
- II. 信用制度
- III. 株式会社制度と証券
- IV. 証券流通と証券取引所
- V. 証券の価格形成
- VI. 現代資本主義と証券市場

[参考文献]

中村孝俊編『証券市場読本』東洋経済新報社。

その他の文献については、必要に応じて紹介します。

## 証券金融論

担当教官 未定

## 経営学原理

教授 篠崎恒夫

上手く企業を経営することは経営それ自体であって経営学ではない。我々がかかる術をも含んだ日常の経営事象を研究対象として捉えて、それを理論的客観的に解明しようとする。このようにして把握される理論体系が経営学である。いかに経営するか、管理するかは、状況に応じ、人に応じて種々様々であり、諸君らが自ら実践書や経済新聞などを通じて学ぶべきことである。我々がなすべきことは、まず、対象とすべき経営がいかに歴史的に形成され、今日いかなる経営学を要求し、そこでは何が中心問題となっているかを客観的、批判的に検討することである。

1. 経営学の認識課題
2. 経営学の基礎概念——労働、管理、組織、官僚制、市場経済と体制
3. 経営学の生成と発展

4. 経営管理の展開
5. 企業形態の発展
6. 経営者論
7. 人間関係論
8. 経営組織論

参考書——内田義彦『資本論の世界』岩波新書、清水正徳『働くことの意味』岩波新書、ライト『晴れた日にはGMが見える』講談社文庫、鎌田慧『自動車絶望工場』新潮文庫

関連科目——以下の諸科目を既に履修しているか、又は同時履修することが望ましい。  
心理学、哲学、歴史学、社会学、社会思想史、商学概論、経済原論Ⅲ、経済史概論、経営管理論、流通組織論

## 経営学説史

非常勤講師 高橋正泰  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

アメリカで特に発展した経営学の展開に焦点をあてる。今世紀初頭の科学的管理法から人間関係論、行動科学、システムズ・アプローチそしてコンティンジェンシー・アプローチにいたるまでの系譜を講義する予定である。

テキスト：権泰吉著『アメリカ経営学の展開』（白桃書房 1984年）

参社文献：車戸實編『新版 経営管理の思想家たち』（早稲田大学出版部 1987年）

## 企業形態論

助教授 小田福男

各企業形態の「所有（出資）—支配—経営」の構造を解明する。

講義内容

序. 企業形態論の概観

1. 個人企業、合名会社、合資会社
2. 株式会社
3. 株式会社の支配構造に関する最近の論争
4. 社会主義企業

基本参考文献：大島国雄『企業形態論』同文館、1976年。

拙著『ソビエト独立採算制理論の展開』千倉書房、1982年。

これ以外の文献はその都度指示する。

## 経営管理論

助教授 鶴野好文

## 労務管理論

助教授 東 條 由紀彦

授業は二部構成で行う。

第一部は、労務管理をめぐって今日生じている様々な問題を取りあげ、各回一講を原則として、できるだけわかりやすく具体的に（をめざして）解説する。社会に出てすぐに役立つようにがんばりたい。

第二部は、諸君と共に、「労務管理」という問題構成の出現自体を、歴史的・批判的に考えてみたい。おそらく当面何の役にも立たないだろうが、大学とはそういう場でもあると思う。

## 財務管理論

非常勤講師 井 村 進 哉  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

現代の企業経営活動には、生産・販売過程に直接関連する活動ばかりではなく、これらの過程に密接に結びついた独自の活動として、財務活動が含まれている。財務活動とは、当面、企業経営に必要な資本の調達・運用にかかわる活動とすることができるが、資本主義的企業は、一方で利潤の極大化を追求するとともに、他方で支払不能に陥らないように資本の調達・運用の両面を均衡させることを要請されているのである（収益性と流動性の均衡維持）。したがって財務管理論の目的は、この収益性と流動性の均衡維持原則の上に展開される財務活動の特質を明らかにするとともに、この活動に関連する管理・意思決定技法・理論の意義と問題点を解明することにある。

講義では、①資本調達論、②資本予算論、および③運転資本論などの財務管理論の基本領域について検討を加えるとともに、長期不況下で展開される現代企業の典型的な財務活動である「財テク」活動の背景、実態、および問題点についても言及する。

また講義では、特定のテキストを指示せず、必要に応じて、講義レジュメ・資料などを配布するが、以下の文献が講義の理解に有益である。

高橋昭三編『等営財務の基礎理論』（同文館）

市村昭三・森昭夫編『財務管理の基礎理論』（同文館）

## 産業心理学

教授 和 田 完

産業心理学の成立過程を検討しながら、その無体系的できわめて広範囲な研究領域を総括的に概観する。われわれは、これらの多岐に及ぶ領域から、産業精神衛生と呼ばれる分野が、なぜ近年問題となってきたかを研究し、その具体的な話題をいくつかとりあげる。とくに臨床心理学的テーマ、適性検査、社会病理学的問題等が強調されるだろう。

参考文献等については講義中に指示されよう。

## 経営史

助教授 高 田 聡

現代の企業経営のありかたを歴史的視角から体系的・構造的に把握することが本講義の目的です。とくに、多国籍経営活動の発展過程には詳細な検討を行う予定です。

## 講義概要

I 企業システムの成立

II ビッグ・ビジネスの成立

III 多国籍企業の発展

特定のテキストは用いませんが、下記の文献はかなり理解の手助けになるでしょう。講義開始時までに入手しておくことを望みます。

山崎清著『アメリカのビックビジネス』日本経済新聞社 1986年刊

## 簿記学 A

助教授 山 本 真樹夫

(1) クラス編成

各学年とも学生番号200までの者は簿記学Aに属する。

(2) 講義内容

簿記とは単なる記帳技術であるとか、コンピュータの利用により無用な学問になりつつある、という誤解があるかもしれない。しかし簿記は企業の複雑な営業活動、投資活動、財務活動に関する情報を組織化し、意思決定に有用な情報に加工するという、最も基本的な企業情報システムである。システムの思考あるいは情動的思考の基本的姿は簿記に見いだされる（といっても過言でない）。

かかる簿記を学ぶためには、その基本原理を十分に理解しなくてはならない。同時に、基本原理にしたがった技術の修得も要請される。受講者は簿記および会計が個人にとって、企業にとって、さらに社会にとっていかなる役割を果しているのか、について問題意識をもって受講して欲しい。

(3) テキスト

久野光朗編著『簿記論講義』（同文館）。なお左記テキストに準拠した演習書、久野光朗編著『簿記論演習』（同文館）を用意することが望まれる。

## 簿記学 B

助教授 松 本 康一郎

(1) 講義は、簿記の原理（単なる初歩とか入門ではない）を理解し、あわせて、会計諸科目の基礎を得ることを目的として進めます。講義内容は、概略次のとおりです。

1. 複式簿記機構の基本原則
2. 企業複式簿記の記帳手続各論（個人企業に限定して）
3. 帳簿組織の基本的類型

(2) 受講者は、2, 3, 4年生いずれも学生番号XX201以降の者とする。

(3) テキストとして久野光朗編著『簿記論講義』（同文館）を用い、サブ・テキストとして久野光朗編著『簿記論演習』（同文館）を用いる。

(4) 参考書

沼田嘉穂『完全簿記教程（I, II, III）』（中央経済社）

安平昭二『簿記要論 改訂版』（同文館）

『初・中級簿記問題演習』（中央経済社）

(5) 注意

会計諸科目の履修には、その前提の1つとして「簿記」の知識を有していることが必要です。本講義の履修上の注意については、最初の授業で詳しく述べますので必ず出席すること。

会 計 学

教授 久野光朗

最初の授業でガイダンスを行い、参考書の紹介などもいたしますが、授業内容を大別すれば次のとおりです。

§1 総論

§2 測定論

収益、費用、資産、負債、資本

§3 伝達論

§4 各論

テキスト：太田・飯野、『会計学』（千倉書房，1983）

参考書—現在入手可能な標準的参考書：

黒沢 清，『近代会計学』（春秋社）

山下勝治，『会計学一般理論』（千倉書房）

飯野利夫，『財務会計論』（同文館）

武田隆二，『会計学一般教程』（中央経済社）

青柳文司，『会計学の原理』（中央経済社）

黒沢 清（主編），『体系近代会計学』（中央経済社）

神戸大学会計学研究室編，『第4版会計学辞典』（同文館）

森田・宮本編著，『会計学辞典』（中央経済社）

国際会計論

助教授 松本康一郎

今日、企業会計においては、多国籍企業の出現および外国直接投資の増加といった、企業の国際的活動ないし経済環境の国際化に伴って、検討すべき諸問題が発生している。比較的研究歴史の浅いこの会計領域を、一般に「国際会計論」と呼ぶ。

本講義では、この国際会計論におけるいくつかの論点について、その内容を明らかにし、問題究明に努める。

今年度に取り上げる予定の諸点は、次のとおりである。

1. 国際会計論における研究領域および研究方法の確定

2. 会計基準の国際的調和化に向けての諸展開

3. 連結財務諸表

4. 外貨換算会計（とくに、このことに関するわが国の会計基準については、詳しく検討する予定である）

5. インフレーション会計の諸類型

講義の進め方として、フリー・ノートで行いますが、必要に応じて適宜資料を配付します。さらに、講義全体の基礎資料として、以下の文献のうちの数章をプリントにして配付します。

Jeffrey S. Arpan, Dhia D. Alhashim (1984) *International Dimensions of Accounting*.

なお、履修上の注意については最初の授業で詳しく述べますので、必ず出席すること。

管理会計論

教授 中善宏

管理会計は、企業内部において経営管理者が当面する問題の解決を援助する会計である。いわば「経営管理者のための会計」であるといえる。この会計は、意思決定会計と業績評価会計に区分される。前者は、かなり長期にわたる、新規の戦略的問題の解決、たとえば典型的には設備投資計画などを対象としている。後者では、比較的短期の企業目標の設定および管理者業績の評価に焦点がある。

今年度の講義では、主として業績評価会計をとり上げる予定である。具体的には、短期利益計画と予算管理が中心となる。管理会計は、きわめて多様な内容を含んでいるけれども、これら2つは、管理会計の最も基本的な分野であるといえる。講義内容は、およそ次のようになるであろう。

1. 管理会計の体系
2. 短期利益計画
3. 予算管理
4. 事業部制会計

教科書として、以下のものを使用する。その他の参考文献は、講義中に適宜指摘する。

溝口一雄編著「管理会計の基礎」（中央経済社 昭和62年）

原価計算論

助教授 福島吉春

1. テキスト

溝口一雄『最新原価計算講義』（中央経済社，1979）。同書は資格試験受験者の自習書として版を重ねてきた同一著者の著書『例解原価計算』の教科書版であり、簡明な叙述に特徴がある。

2. 講義内容

- (1) 総説（原価計算の基礎概念）
- (2) 実際原価計算
- (3) 標準原価計算
- (4) 直接原価計算

本年は(3)まで講義する予定である。また授業では計算技法だけでなく、その基盤となる管理思考や歴史的背景をも理解してもらう。なお最初の授業で講義内容と下記参考文献の

解説をおこなう。テキストと『教授要目』を持参されたい。

### 3. 参考書

- (1) テキストを理解するための基礎文献——①岡本清編著『管理会計の基礎知識』, ②津曲・宮本編著『原価計算の基礎知識』(以上, 中央経済社), ③原価研究会編『原価計算テキスト』(同文館)。
- (2) 理解を深めるための文献——①岡本清『原価計算(三訂版)』(国元書房), ②津曲直躬『原価計算論講義』(中央経済社), ③原価研究会編『ステップ式・原価計算演習』(同文館)。

## 憲 法

助教授 結 城 洋一郎

「憲法」という法形式が成立する歴史的な過程と意義を学び, わが国の憲法については, 基本的人権を中心に具体的裁判例を参照しながら講義を行う。

### 講義内容

#### I 総 論

- (1) 憲法とは何か
- (2) 自然法思想と国民主権原理

#### II 日本の憲法

- (1) 明治憲法から日本国憲法へ
  - (i) 明治憲法の特徴
  - (ii) 憲法の変動
- (2) 日本国憲法
  - (i) 基本的人権の保障
  - (ii) 平和主義

テキスト: 特に指定はしないが, 講義の中で何点かを紹介する。

参考書: 樋口陽一他『日本国憲法資料集』三省堂

『憲法判例百選 I・II』(別冊ジュリスト) 有斐閣

## 行 政 法 I

教授 秋 山 義 昭

具体的な事例を素材にしながら, 行政法の全体を体系的に講義する。行政法は, 憲法・民法等の知識を不可決とするので, 受講者はこれらの科目についてすでに相当の成績で履習済みのこと。

テキスト: 遠藤・熊本・秋山・畠山「教材行政法判例」(北大図書刊行会)

参考書: 今村成和「行政法入門(新版) I」(有斐閣)

田中二郎「新版行政法上(全訂第二版)」(弘文堂)

室井ほか「行政法を学ぶ 1・2」(有斐閣)

原田尚彦「行政法要論(全訂版) I」(学陽書房)

秋山義昭「国家補償法」(ぎょうせい)

## 財 産 法 I

(前期) 非常勤講師 藤 原 正 則  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

財産法 I の対象とするのは「総則」及び「物権」であるが, 前期で「総則」を扱う。昨年某商社の法務担当の人が新入社員に法律を勉強し直してもらうには, まず民法総則のテキストを読ませることにしていると話していた。その理由は「大学で講義を聞いた時にはよく理解できないところであるが, 私法上の様々の基本的制度が含まれているから」だそうである。(その体系的な位置づけは別として) 恐らく民法総則の教育上の意義はこのようなものであろう(よくわかるよう話したい)。

テキストは特に指定しないが, 標準的なものとして, 我妻栄・有泉亨「民法 I, 総則・物権」(一粒社), 遠藤・川井他編「民法(1)総則」(有斐閣双書), 星野英一「民法概論 I (序論・総則)」(一粒社) 等がある。

以上のいずれか一冊と併読するなら, 鈴木祿弥「民法総則講義」(創文社) は具体例が豊富で面白い。

なお早く民法の全体構造を理解したい方の為の絶好の入門書としては米倉明「プレップ民法」(弘文堂)。本格的に民法を勉強する予定の方には, 我妻栄「民法案内 1 (私法の道しるべ)」我妻栄・幾代通補訂「民法案内 2 (民法総則)」(一粒社) 以下債権法の途中まである, をおすすめする。

(後期) 教授 神 田 孝 夫

民法典第二編「物権」が講義の主要な対象となります。なかでも物権の変動をめぐる問題や各種の用意物権ならびに担保物権をめぐる問題が重要課題です。当然のことながら, 前期の講義が基礎となりますので, その部分を十分勉強したうえで後期にのぞんで下さい。いずれにしても, まじめにとりくみ地道に努力しないと身につけません。一夜漬けで単位をかせごうという人には不向きですので避けた方がいいでしょう。

テキスト, 遠藤浩ほか編「民法(2)」 有斐閣

六法全書はどの出版社のものでも構いませんが, 判例付きの小型六法が勉強に便利と思います。

## 財 産 法 II

教授 神 田 孝 夫

主として民法典第三編債権が対象となりますが, 冒頭で数回, 昨年度の財産法 I で殆んど触れることができなかった担保物権の問題をとりあげます。債権法は契約をめぐる問題が中心ですから, 財産法 I に比べると話しが具体的で親しめるはずですが, 本科目を履修することではじめて財産法の全体像をつかむことができますので, できるだけ多くの諸君が履修するようおすすめします。

テキスト 遠藤浩ほか編「民法(4)」「同(5)」「同(6)」 有斐閣

参考書等は開講時に紹介します。

六法全書はどこの出版社のものでも構いませんが、判例付きの小型の六法が勉強上も便利と思います。

## 民事訴訟法

講師 町村 泰貴

民事に関する様々な問題を法的に処理する制度について講義する。講義の対象は、判決手続、執行手続、および倒産処理法が中心となる。関連する法領域は広大なので、何が重要な問題なのかを理解することを主たる目的として、知識の習得はその理解に最低限必要なものにとどめたい。

講義の順序は、前期に判決手続、後期に執行手続と倒産処理法を扱う。

成績評価は、前・後期の2回に分けて行う試験による。またこれに加え、レポート提出を認める。レポート提出は任意だが、提出すれば成績評価に加味する。なお念のためにいうと、試験を受けなければレポートを提出しても原則として単位を認定しないので、試験は必ず受けなければならない。

使用する文献は以下の通り。

### 1. 教科書

中野貞一郎編『現代民事訴訟法入門』現代法双書——前期

山木戸克己『民事執行法講義』有斐閣ブックス——後期

青山・伊藤・井上・福永『破産法概説』有斐閣双書——後期

### 2. 参考書

『民事訴訟法判例百選 [第2版]』別冊ジュリスト76——前期

『新版・民事訴訟法演習1・2』——前・後期

『倒産判例百選』別冊ジュリスト52——後期

## 会社法

教授 青竹 正一

会社法は、共同企業の典型的形態である会社組織の成立から消滅に至る諸段階における利害関係人の利益調整を行なうことを主たる目的としている重要な法律である。講義は、このような会社法のうち最も重要な株式会社法の説明を中心にして、会社法が現実の企業活動においてどのように機能しているかを知ってもらうために、判例、書式などの具体的素材を提起しながら進めることにする。また、現在、わが国に多数存在する小規模な閉鎖的株式会社および有限会社を合理的に規整するために、会社法の改正作業が進められているので、関係するところで説明を加えることにする。

テキスト：上柳・北沢・鴻・竹内編『新版会社法I, II』（有斐閣）

参考書：ジュリスト別冊『会社判例百選（第四版）』（有斐閣）

河本一郎編『株式会社法教材』（商事法務研究会）

青竹正一『続小規模閉鎖会社の法規整』（文眞堂）

## 商取引法

(前期) 非常勤講師 野田 博  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

(後期) 助教授 浅木 慎一

商事法は企業に関する法であるといわれる。商取引法においては、企業主体および企業活動の基礎に関する法ならびに企業の特定種類の取引に関する法を扱う。具体的には、商法典中、第一編総則、第三編商行為を中心に講義することになるが、これにとどまらず、近時の重要な取引問題にも言及してゆくつもりである。

前者の法に関して、野田が、後者の法に関して、浅木が、各々前後期において担当する。テキストとして、以下のものを採用する。

竹内昭夫＝龍田節編『現代企業法講座』第1巻、第4巻（東大出版会）

## 有価証券法

助教授 浅木 慎一

有価証券法においては、とくに、企業間の決済手段として、あるいは企業間の信用取引手段として、わが国で広く用いられている手形・小切手を中心に、法的問題点を採りあげてゆく。

将来、諸君が企業において現実に手形、小切手を扱う立場になった場合を念頭に置いて、講義を進める。

テキスト等は未定。追って通知する。

## 経済法

助教授 和田 健夫

市場機構に対する国家（政府）の介入のための法について講義します。講義のポイントは、それぞれの介入の目的・形態・社会経済的背景・および介入の経済効率の観点からの評価、について検討することを通じ、現代経済における国家の役割を考えることにあります。

テキスト

1 松下満雄『経済法概説』（東大出版会）

2 講義資料（講義の際に配付）

なお六法は必ず携行すること。

## 経済刑法

助教授 丸山 雅夫

主として財産犯を取り扱い、現代型の犯罪のいくつかにも言及する。なお、刑法の基本的な考え方を理解していることが前提となるので、必要な限度で総論の諸問題についても説明を加える。

教科書 内田文昭著『改訂刑法I（総論）』（青林書院）

平野龍一・松尾浩也編『別冊ジュリスト82刑法判例百選I総論（第二版）』

同『別冊ジュリスト83刑法判例百選Ⅱ各論(第二版)』(有斐閣)  
また、内田文昭編著『争点ノート刑法Ⅰ・Ⅱ』(法学書院)は、論点別に整理されており、辞書的にも使えるので、手許にあれば便利である。

## 無体財産法

非常勤講師 半田正夫  
(青山学院大学教授)

最近、新聞紙上などで著作権の記事が頻りに登場するようになった。たとえば、貸しレコード問題、パロディ問題、文献コピー問題、DAT問題、データベース保護の問題、著作隣接権保護期間延長問題など数え上げればきりが無いほどである。著作権の保護の度合はその国の文化水準をはかるバロメーターであるといわれるように、著作権はますますその重要性を増してきている。わが国の著作権法は昭和45年に全面改正されたが、機械技術の急速な進歩とその普及とにより、毎年のように一部改正を余儀なくされている。本講においては、このような流動化する著作権制度を紹介しながら、今後どうあるべきかを諸君とともに考えていきたい。

テキスト：半田正夫著『著作権法概説〔第4版〕』一粒社  
参考書：半田正夫・紋谷暢男編『著作権法のノウハウ〔第3版〕』有斐閣

池原・斉藤・半田編『著作権判例百選』有斐閣

半田正夫著『著作権法の現代的課題』一粒社

半田正夫著『著作権——その制度と権利の実態』教育社

## 労働法

助教授 島田陽一

近年のサービス経済化、情報化といわれる産業構造の変化にともなって、労働法をめぐる状況は急速な変容をみせている。たとえば、就業構造の変容により、労働者のなかでも正規従業員が減少し、パートタイマーや嘱託、派遣労働者、下請負労働者等の非正規従業員が増加するという事態が生じている。このため、わが国の労働組合の主流である正規従業員による「企業別組合」の組合員が減少し、結果として、組合組織率が年々低下してきているのである。また、男女雇用機会均等法(昭60年)、労働者派遣法(昭61年)の制定、労働基準法の労働時間部分の改正(昭62年)にみられるように、労働法はいまや立法の変革期にあるといってよいだろう。そこで、このような現代的状況をふまえた労働法の動的な認識が得られるように留意して講義をすすめていきたい。

教科書 外尾健一著『新版労働法入門』(有斐閣)

## 環境法

講師 川嶋四郎

公害・環境問題をめぐる諸法規や裁判例を中心に、その紛争処理制度を概説します。その前提として、まず、民法典中の不法行為法を概説し、次に、環境法の講義を行います。

なお、講義内容に関する詳細な予定表は、開講第1日目に配布します。

〔テキスト、参考書〕

・不法行為法について

遠藤浩ほか編『民法(7)〔第3版〕』(有斐閣)

『民法判例百選Ⅱ(債権)〔第2版〕』(有斐閣)

・環境法について

テキストは特に指定しませんが、講義の中で、必読文献を紹介します。

『公害・環境判例百選(第2版)』(有斐閣)

人間環境問題研究会編『最近の重要環境・公害判例』(有斐閣)

※ どの出版社のものでもよいが、六法は必携。

## 国際法Ⅰ

教授 大谷良雄

本年度の国際法Ⅰは、次の内容を中心に講義をします。

Ⅰ 国際法の構造と機能

Ⅱ 国際社会における国家の地位

Ⅲ 国際法の定立行為

Ⅳ 国際責任

Ⅴ 国家の管轄権

Ⅵ 国際社会の組織化

Ⅶ 国際経済活動と国際法

Ⅷ 国際紛争の処理方式

特定のテキストは使用しませんが、主要参考書は次のとおりです。

山本草二「国際法」(昭和60年有斐閣)

小田・石本・寺沢編「新版現代国際法」(昭和61年有斐閣双書)

寺沢・内田編「国際法の基本問題」(昭和61年有斐閣別冊法学教室)

大谷良雄「概説E C法」(昭和58年有斐閣選書)

小田・石本編「解説条約集」(改訂版)(昭和62年三省堂)

## 国際機構論

助教授 中村 恵

1 講義内容

今年度は、講義を前期と後期の二期に分け、前期は、国際連合憲章上の主要問題について検討し、後期は、国際機構の概念・内部機関の構造・表決制度等について検討します。前期については、憲章の解釈論が中心となります。

2 テキスト及び参考書

特定のテキストは、使用しません。参考書及び条約集については、最初の講義の際に指示します。



## 国際経済法

助教授 清水章雄

国際法のなかで国際経済の調整・発展を目的とする部分およびそれに関連する国内法について、次の範囲で講義を行います。

### 1 国際通商法

- (1) 貿易摩擦の法的問題 (2) 法的枠組としてのGATT (3) セーフガード措置
- (4) ダンピング防止税 (5) 補助金・相殺関税 (6) 政府調達
- (7) GATTの紛争処理手続 (8) 開発途上国と貿易 (9) 国際商品協定

### 2 国際独占禁止法

- (1) 内国独禁法の域外適用 (2) 競争制限の国際的規制

### 3 国際知的所有権法

- (1) 知的所有権の属地性 (2) 国際技術移転の法的規制

### 4 国際投資法

- (1) 国際投資規制 (2) 外国資産の国有化

### 5 国際金融法

- (1) IMFの法的枠組 (2) 国家債務累積問題 (3) 国際開発金融

### 6 国際租税法

- (1) 国際租税原則 (2) 租税条約 (3) 国際的租税通脱防止

なお、テキストとして丹宗昭信・山手治之・小原喜雄編『国際経済法』（青林書院）、その他に高野雄一・小原喜雄編『国際経済条約集』（有斐閣）を使用します。

## 国際取引法

助教授 桑原康行

### 1. 講義内容

次の順序で講義を行う。

#### 一. 国際私法

#### 二. 国際的法的統一

#### 三. 国際的売買

#### 四. 国際的支払

#### 五. 国際的運送・保険

#### 六. 紛争の解決

### 2 教科書

澤田他著『国際取引法講義』（有斐閣）

### 3. 参考書

参考書については、第1回目の講義の時に指示する。

## 管理科学通論

非常勤講師 浅利英吉  
(北海道東海大学助教授)

近代の組織体の管理・運営とその社会への対応は、既に人智を結集した科学の対象となっており、管理科学の名はこれに由来する。管理科学通論ではまずこの学問と技術の連峰を広く展望し、ついでその脊梁山脈を形成している確率論・数理統計学へ入門する。ついでいくつかの数理手法—たとえばシミュレーション、予測、線形計画法—をえらび、それらの理論と実際を論ずることを通じて、管理科学を学ぶ基礎をやしなわしめるものとする。

## 管理科学 I

教授 若林信夫

「マイクロコンピュータを利用したオペレーションズ・リサーチと管理科学」の基礎と応用を学ぶ。

受講者は、計算センターのアカウントをとっておくこと。また、MS-DOSのコマンドの意味を予習しておくこと。

I. 意思決定分析, AHP (階層プロセスの解析) の基礎と応用。

4月—5月。参考文献: 刀根薫「ゲーム感覚意思決定法」日科技連 1400円。

II. グラフとネットワーク, 分解原理。

6月—9月。

III. マルコフ連鎖, シミュレーション (在庫, 待ち行列)。

10月—12月。

IV. 情報システム, データベース, 暗号学。

1月—2月。

レポート: 夏休みと冬休みに自習ノートを作り提出。

試験: 定期試験の中で2回行う。

## 管理科学 II

教授 樋口透

ORは、企業の科学的な管理を指向したものであるが、本論では、もう少し広く、社会システムに焦点をあてる。つまり、社会に存在する矛盾や不合理性が何であり、またそれらをどのように解決し、調和のあるシステムとして存続させるか。このような観点からORおよびシステム論を考える。

比較的新しい分野であり、市販の文献にない理論や手法も解説するので講義に出席し、その場で理解することが肝要である。なお、演習問題を課するのでコンピュータのプログラミングに習熟しておく必要もある。

教科書 (前期): 鈴木光男・中村健二郎「社会システム」共立出版

後期は教科書を用いない。

## 管理科学Ⅲ

(前期) 教授 沼田 久

前期では、ORに必要な、ものの見方、考え方、コンピュータの世の中における使われ方、情報やコミュニケーションのシステムの現況、その他種々の題材をとり上げる予定。

毎回出席しなければ受講したことにはならないような授業をする予定であること、および、後期の講義内容とは直接的関連はないことを心得た上で受講すること。

(後期) 教授 戸島 熙

「リカージョン (recursion; 帰納, 再帰)」をメインテーマに

1. 形式的構文記述言語,
2. 人工言語の形式的意味記述法,
3. リカージョンによる算法表現法,
4. リカージョンの自動計算法,

などを論じる。1. ではBackus-Naur Form (BN正規形), 2. ではプログラム言語のdenotational Semantics (表示的意味論), 3. ではrecursive function (帰納関数), 4. ではuniversal function (万能関数)を扱う。これらはいずれも管理科学の学生ならば必ず理解しておかなければならない基礎的事項であり(数学科の学生がテラー展開を知らなければ「もぐり」であるように, 管理科学の学生でBN正規形を知らなければ「もぐり」と言われても仕方がないであろう), 先端分野(たとえば, オブジェクト指向言語, 定理自動証明, 関数型プログラミングなど)の動向の的確な把握にも欠かすことが出来ない基礎的知識である。講義は関連する話題を出来るだけ広範に取り入れて行うが, たんに理論的な説明に止まらず演習を通じて「実技」を体得してもらう(たとえばBN正規形で適当な言語の構文を定義しその表示的意味を記述するとか, 「ハノイの塔」問題のリカーシブな解とリカーシブでない解を比較するなど)。また, 講義は板書の手間を省くため全面的にOHPを使用する。テキストは使用しない。参考文献はその都度紹介する。

## 経営情報論

教授 山田 一生

現代社会の多様化と環境適応への必然性は, 本格的ハイテクノロジー時代に突入した昨今, 新しい企業概念を求めるといって急進的である。とりわけ, 現代社会での組織変革への要請は, 生き残り戦略の展開面できわめて顕著であり, いわゆる組織・管理に関する諸問題へのサイバネティック・アプローチを急務とする。本講義は, 組織体が社会・経済環境の激変に適応していくためには, 組織サイバネティックスの展開が必須であり, 広く組織論や意思決定論など経営学的研究をも包含すべきであるとの観点から, MIS (管理情報システム) からDSS (意思決定支援システム) までの発展的考察を意図して理論面からのアプローチを試みる。同時に, OA (オフィス・オートメーション) 時代の実践的理論の構築について言及する。

ここで, 経営情報論の生成過程について, MIS研究の立場からの体系的検討を試みると

すれば, まずMIS前史としての事務管理論(事務の機械化レベル)から, 経営事務管理論(管理の機械化レベル), 経営情報管理論(経営の機械化レベル)へと発展段階的にとらえるのであり, さらにより人間中心なアプローチである経営組織管理論(組織システムのレベル)へと展望されるであろう。本講座では, これらの詳細についても考察する予定である。

テキスト: 山田壹生著『経営情報論~講義ノート~』(1988年版)

主要参考文献ならびに参考文献については, きわめて多数のものを列挙する結果となり, 標準的なテキスト・ブックを指定することは, とうてい困難である。したがって講義の中で必要に応じて, その都度紹介する。

## 会計情報論

教授 山田 一生

情報化社会から情報社会へとも言われている現代, 情報伝達のスピードが飛躍的に高まり, 従来別世界にあったような情報が, 今ではなくてはならない貴重な情報として活用されるとい例は, 今後ますます発展するものと思われる。また, 情報のとらえ方もその限定された枠の中でとらえるだけでなく, より広汎な視野からとらえることが必要となってくるであろう。会計システムの場合でも, 単に会計分野だけの情報にとどまらず, 経営という立場から見た企業全般を対象とする情報, 経済状況, 社会, 環境とその枠は拡大される。現代の会計学が経営学, 経済学さらには社会学や環境学をも取り入れようとしている流れも, この枠の広がりによって無関係ではなからう。

会社情報システムは, 企業の経営活動の全般にわたって, (1)事後計算(報告的会計), (2)現在計算(管理的会計), (3)事前計算(予測的会計)のそれぞれの情報を提供し, 経営意思決定に役立つ情報システムとなるものである。しかるに, 1966年のASOBAT (a Statement of Basic Accounting Theory)の公表以来, いまだにその実践的展開による検証を経た, 真の会計情報システムの一般モデルが登場していない。さらに, 企業の情報システムに対して, 一般に要求されると考えられる情報の種類は, (1)歴史的情報(オペレーショナル・マネジメント層), (2)執行的情報(スタッフ・マネジメント層), (3)決定情報(エグゼクティブ・マネジメント層)であり, 現在の会計システムは, そのうちの歴史的情報の大部分を提供しているのにすぎないのが実状である。

その原因として考えられることは, まず第一に会計システムが, 主として外部指向のプロセスとして, 財務会計を中心として展開されてきたということがあげられる。意思決定に有効な情報をもたらすためには, 内部指向のプロセスへの展開を図らなければならないが, そこで問題となるのが, 意思決定者自身が各自の持つ情報ニーズをシステムに十分反映させることができないということであろう。さらに, 意思決定支援のためには, 意思決定者のもつ経験的な情報ニーズやその処理ロジックを柔軟にコンピュータ・システムに反映させることが必要であるが, そのためには, 従来からの大型コンピュータでのEDPを中心とする集中処理型のシステムで対応することは難しく, その役割は, 多種・多量のファイルハンドリングが可能となってきたこと, ネットワーク構築が容易であることなどの理由により, パーソ

ナル・コンピュータが担うことも期待されているのである。

このような会計研究に関する進化論的アプローチの結果、伝統的企業会計制度としての会計システムは、(1)EDPシステム→(2)IDPシステム→(3)エキスパート・システム→(4)意思決定支援システム、さらには(5)人工知能システムとして促えられるのであり、最近における(a)構造的アプローチ(ファームウェア)、(b)技術的アプローチ(ハードウェア)、(c)人間的アプローチ(ヒューマンウェア)、(d)機能的アプローチ(ソフトウェア)という4つの側面から統合プロセスと促えることにより、会計情報システムの新展開がはかれることになろう。本講座における具体的講義内容としては、(I)会計情報システムの新展開、(II)意思決定支援システムへの実践的アプローチ、(III)意思決定支援システムの具体的展開、(IV)意思決定システム・ドキュメンテーションであるが、講義と演習とを同時併行させる方式を実現できるように配慮することにする。

すなわち(i)仕訳プログラム、(ii)勘定記入プログラム、(iii)試算表プログラム、(iv)精算表プログラム、(v)修正財務諸表プログラム、(vi)経営分析プログラム、(vii)デシジョン・パッケージ・プログラムなどについて、DB/DC(Data Base/Date Communication)アプローチを展開する予定である。これらの同時併行作業を通じて、会計情報システムの原理的ならびに実証的研究をはかり、会計情報システムの基本的設計を究明するとともに、さらに、会計情報論の諸問題について論述する。

テキスト：山田壹生著『会計情報論～講義ノート～』(1988年版)  
主要参考文献ならびに参考文献については、きわめて多数のものを列挙する結果となり、標準的なテキスト・ブックを指定することは、とうてい困難である。したがって、講義の中で必要に応じて、その都度紹介する。

### 経営情報特講

非常勤講師 宮川 公 男  
(一橋大学教授)

### 応用数学(代数)

(前期) 助教授 行 方 常 幸  
(後期) 教 授 沼 田 久

経済学、管理科学、統計学等の勉強を進めるために必要な線形代数学を講義する。ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式、凸集合等々の諸概念に慣れること、行列やベクトルを含む演算に慣れること、線形計画問題の解法の初歩に触れること、線形代数学が経済学などにどのように応用されているかを知ることなどである。情報処理I、応用数学(解析)とともに、管理科学科の学生は必ず履修することが望ましい。

高等学校的な数学の得手・不得手とはあまり関係はないが、論理的能力または、ある程度の根気が必要である。

教科書：沼田 久，行方常幸ほか著『線形数学』(富士書院，1988)。

### 応用数学(解析)

助教授 行 方 常 幸

管理科学、経済学などを学ぶために必要である差分方程式、微分方程式を基本解法、応用例などを中心に講義する。

「数学」は履修済みであるとして講義を進める。

教科書

須田宏 「差分方程式・微分方程式」 培風館

### 応用数学(統計I)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト：坂本慶行 他著 「情報量統計学」 共立出版

参考書：坂本慶行 著 「カテゴリカルデータのモデル分析」 共立出版

### 応用数学(統計II)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト：鈴木雪夫 著 「統計学」 朝倉書店

### 情報処理 I

教授 若 林 信 夫  
助教授 杉 本 英 二  
助教授 中 村 隆 志

コンピュータで情報処理を行うためには、どのような処理をどのような順にやるのかという指示を与えなければならない。この指示がプログラムである。プログラムを記述するための言葉がプログラム言語であり、FORTRAN, PASCAL, COBOL, LISP等、利用目的別に多くの種類がある。

この科目では、プログラム作成の基礎を学ぶ。プログラムの学習では実際にコンピュータを使用した演習を行う必要がある。したがって、各自、講義とは別に、このための時間を毎週少くとも3時間程度は用意しなければならない。

今年度は各学年とも次のようにAとBの二つのクラスに分ける。

A・・・管理科学科に所属する者

(担当) 前期：中村、後期：若林

B・・・管理科学科以外の学科に所属する者

(担当) 前期：杉本、後期：中村

それぞれの講義の内容は次のとおりである。

### 〔I A〕

(前期) 助教授 中 村 隆 志

前期の目標はコンピュータの操作法と初歩的なプログラミング技法を修得することである。

端末の電源スイッチをいれてから、プログラムを入力して実行するまでの操作を実習を通して覚えてもらう。プログラム言語としては、例年通り、科学技術計算に最もよく使われており、規則も比較的やさしいFORTRANを用いる。プログラムの演習問題を数回出題し、その実行結果の提出を義務づける。

テキスト：菊池光昭編「文化系のためのFORTRANプログラミング入門」，近代科学社

(後期) 教授 若林信夫

講義では、現代プログラム言語の一つであるPascalを主体に、情報処理の基礎と応用について学ぶ。具体的には、整列と併合、行列処理、再帰、及びデータベース管理の算法(アルゴリズム)とデータ構造をとりあげる。

記号処理に便利なLisp, 事務処理で使用頻度の高いCobolについても簡単なプログラムを作れるようにする。受講者は、Pascal言語について自習テキストを選択、購入し、講義時間外に計算センター等で実習し、結果を自習ノートにまとめ、2回提出する。自習テキストの疑問は、納得のいくまで質問するか、SW37のアカウントのファイルに書き込む。

試験は、後期定期試験の中で一回行う。また、出席調査を兼ねて、クイズを行う。成績評価は、試験の点数、自習ノートの点数、出席点ならびに、Melcom計算機利用統計を参考にする。

自習テキスト等は、9月中旬に掲示する。

## [I B]

(前期) 助教授 杉本英二

前期の授業では次の3項目について講義します。

- (1) 計算機の概論
- (2) コンピュータに情報を伝えるためのエディタの使い方
- (3) FORTRAN言語のプログラム

演習が重要ですので、講義以外に毎週2時間程度の演習時間を用意して下さい。

テキスト：森口繁一「JIS FORTRAN入門(上)」第3版

(後期) 助教授 中村隆志

まず、前期に引き続きプログラム言語としてFORTRANを用い、前期で学んだ初歩的な技法を組み合わせるにより、実用的なプログラムが作成できるようにする。

次に、事務処理用言語として最もよく使われているCOBOLの基礎を学ぶ。

演習問題を出題するので、各自、適当な時間に計算センターを利用し、その実行結果を提出しなければならない。

テキスト：未定

## 情報処理 II

助教授 杉本英二

コンピュータを理解するには、プログラムを作るのが一番の早道です。このプログラムを

作る作業のことをプログラミングといいます。プログラミングでは、まず次のことを解決する必要があります。

- (1) どんな問題なのか?
- (2) 問題を解く方法があるか?
- (3) コンピュータで計算出来るか?

前期はパソコンのTurbo Pascalを使って、プログラミングと計算機の仕組みを学ぶ。後期は、RUN/Prologを使って知識情報処理の入門を行う。各自演習のために、毎週3時間程度の時間と提出用のフロッピーディスクケットを用意して下さい。履修条件は、情報処理 I の単位を修得済みであることです。テキストは未定。

## 情報処理 III

教授 戸島 熙

数式処理言語REDUCEを解説する。REDUCEの主な機能は

1. 多項式や有理関数の展開
2. 置換とパターンマッチ
3. 式の簡約化の制御
4. 方程式の求解、行列演算
5. 任意多倍長精度の整数および実数演算
6. 解析的微分および積分
7. 多項式の因数分解

などである。たとえば

```
int (log x, x);
```

をREDUCEに入力すると

```
X * (LOG (X) - 1)
```

が得られる。ここで、intは積分を行う組み込み演算子である。講義にはテキストとしてREDUCE USER'S MANUAL Version 3.2

を使用する。なお、計算センターのマイクロコンピュータでREDUCE 3.2を使用することが出来るので、各自それを用いて演習を行ってもらおう。参考文献としては次のものがある。

Gerhard Rayna, REDUCE Software for Algebraic Computation, Springer-Verlag, 1987.

## 情報処理特講

助教授 中村隆志

情報処理 I ではプログラムの作成方法を学んだが、コンピュータの内部の処理についてはあまり触れられていない。

この科目ではコンピュータ・システムがどのような構成になっており、どのように動作するのかなどを中心に学ぶ。主な内容は次の通りである。

- ・コンピュータ・システムの構成

- ・2進数と16進数
- ・浮動小数点演算と数値計算における誤差
- ・ファイル編成
- ・オペレーティング・システム
- ・コンパイラ
- ・仮想記憶
- ・その他

テキスト：森口繁一他「電子計算機への手引き」（岩波講座情報科学2）岩波書店

## 6 教職科目

**教育原理** 非常勤講師 廣川 淑子

人間の成長・発達に即した教育の諸段階の特徴、教育のあり方を探りながら、また教育の歴史もふりかえりつつ、「教育とはなにか」について理解を深めていきたいと思います。

テキスト：モーリス・ドベス著「教育の段階」 岩波書店

**商業科教育法** 非常勤講師 横川 義雄

(札幌大学名誉教授)

現代産業経済社会の急速な変化と発展に伴い、商業教育の果たす役割の重要性をとりあげながら、これからの商業教育を担当する者の「教育観」の「研究のあり方」と「指導」の融合性をさぐる。

1. 産業技術の進歩と世界の中の日本経済を分析する。
  - 産業構造調整とこれに関係する課題の経済的、経営的分析—
2. 教育に関する現代的視野をつぎの点よりみる。
  - (1) 生活化の教育、個性伸長の教育
  - (2) 経験、技能に生きる商業教育にみる実務ビジネスの指導
3. 学習指導要領の展開
  - (1) 後期中等教育のめざすもの
  - (2) カリキュラムの編成について
    - 一般教育科目と専門科目との関係と特別教育活動—
4. 商業教育の新しい目標と科目群の内容
  - (1) 商業教育の目標、とくに日米商業教育比較論
  - (2) 商業科目にみる科目群
    - とくに「商業経済」「簿記会計」「情報処理」を中心として—
5. 学習指導の三つの原理—自発性、生活化、個別化・社会化—
6. 学習指導の方法—Recitation&Problem Solving—
7. 学習指導案の作成と教育実習の意義

テキスト 田中・雲英編 「商業教育論」（改訂） 多賀出版

**英語科教育法** 非常勤講師 浪田 克之介

(北海道大学教授)

英語科教育法とは単に英語の教え方を意味するものではなく、英語、さらに広くは外国語教育の本質や目的などを検討する。教室では講義と演習の両形式が利用される。

テキスト：『英語科教育法セミナー』（英宝社）

## 道德教育の研究

非常勤講師 廣川 淑子

私達は幼時から身近かな人々や集団，社会とのかかわりの中で道徳的習慣や規則を学びとり，それを自己の願望や理想とむすびつけながらより普遍的な道徳を求めていこうとしています。道徳性の発達の過程を追いながら道徳教育の役割について考えていきたいと思ひます。

## 教育史

非常勤講師 三沢 正博  
(北海道教育大学教授)

世界と日本の教育史から，重要な問題を取りあげて講義する。

前期は，人類の発生と教育の成立，文字の発明と学校の起源，徒弟制度など，主として古代・中世から題材をとる予定。後期は，近代教育思想，戦前戦後の日本の教育の歩みを，世界の国際関係史に位置づけて話す。

参考書はその都度示すが，主に手造りプリントを配布する。

## 職業指導

非常勤講師 松田 光一  
(北海学園大学教授)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| (1) 職業について     | (5) 職業観の発達と指導    |
| (2) 職業指導の本質    | (6) 進路指導における個人理解 |
| (3) 進路指導の管理と運営 | (7) 職務と人間        |
| (4) 進路指導の実践    |                  |

テキスト：市川・柴山「職業指導」，学術図書出版

## 英文学概論

(前期) 非常勤講師 片山 厚  
(北海道大学教授)

主に20世紀のアメリカの作品を素材として，基本的な文学に対するアプローチの例を示し，その背景となっている知識を確認することとあわせて，アメリカ文学，並びに文化一般について，その特色を学習することを目的とする。

テキスト等は講義の中で指示するが，指定の作品を比較的短時間に容易に読むことが必要である。

(後期) 教授 永原 和夫

下記の順次で講義する。参考文献はその都度提示する。出席を重視し，後期6回以上欠席する者は単位を放棄したものとみなす。

- 第一章 文学とは何か
- 第二章 文学のジャンル
- 第三章 文学の表現
- 第四章 文学思想

## 英文学演習Ⅱ

助教授 鶴見 精二

最初は文学批評の様々な基礎的事項に習熟してもらうことから始め，徐々に文学と批評の関わりあいを現在の動向から探っていくことにする。教材はプリントを使用していく。

## 英語学概論

非常勤講師 高橋 英光  
(北海道大学助教授)

(前期) Old English (古英語) から Middle English (中期英語) を経て，early Modern English (初期近代英語) として現代に至るまでの「英語の歴史」を扱い，各時代の英語の特徴について話をする。

(後期) 20世紀の文法理論に焦点を当てて英語学の基本的な考え方を学んでもらいます。参考書は適時紹介する。受講者は定期試験の他にレポート課題にも取り組んでもらう。3/5以上の出席のない者は受験資格を失う。遅刻は欠席扱いとする。

## 英語学演習Ⅱ

助教授 山本 久雄

テキスト：A University Grammar of English by Quirk and Greenbaum (Longman)

本授業では，英文による文法書を講読する。分担及び担当者を決め，報告形式で講義を進める。したがって学生諸君の積極的な出席が重視される。

## 英会話・英作文

外国人教師 Michael Carr

Time weekly magazine  
This is an advanced course in English communication. We will read and discuss current articles from Time and you will write weekly compositions which must be typewritten. Attendance and participation are required, and only three unexcused absences will be allowed.

- 1 研究主題
- 2 指導事項
- 3 指導テキストおよび参考書

## 7 研究指導

### 井上教官担当研究指導

#### 1 研究主題

International Economic History

19世紀初頭のイギリス産業革命期から20世紀20～30年代の大戦間期にいたる国際経済・金融史を研究主題とします。

#### 2 指導要領

3年次と4年次前半までの約1年半の間、国際経済史に関する英文のテキストを読みます。3年次末までに卒業論文のテーマを決め、4年次の後半から本格的に卒業論文の作成準備に移ります。

#### 3 テキスト

A. G. Kenwood and A. L. Lougheed, *The Growth of International Economy 1820-1980, An Introductory Text*, London, 1984.

### 遠藤教官担当研究指導

#### 1 研究主題

計量経済モデルの組み立てと推定

#### 2 指導要領

3年次生は下記テキストの講読、4年次生は追加文献の講読と卒業論文の作成。

#### 3 テキスト

Kmenta, *Elements of Econometrics*, 2/e, 1986.

### 早見教官担当研究指導

#### 1 研究主題：財政学講義にふくまれる諸問題とその経済分析

2 指導要領：英語文献を輪読することから始める。担当個所のノートを各自がプリントして配布し、その添削によって内容の精読に務める。使用テキストは未定。

以上の課程の後、卒業論文のテーマを決め、報告を重ねて論文にいたる。

3 申込条件：1・2年次の授業科目を履修しておくこと。英語の長文を読める時間と根気をもてる学生であること。その他は応募日がきたら知らせる予定。

### 久次教官担当研究指導

1 研究主題 統計学の数理的方法論に重点をおく。

#### 2 指導要領

3年次 テキストの講読・討論・演習

4年次 追加文献の講読および卒業論文の作成

卒業論文のテーマは下記の分野から選ぶ。

◦統計学・計量経済学の数理的方法論

◦実証分析

◦統計に関するソフトウェア

#### 3 指導テキスト

3年次生：J. Johnston, *Econometric Methods*, 3rd ed. McGraw-Hill, 1984.

4年次生：(1) P. C. B. Phillips and M. R. Wickens, *Exercises in Econometrics*, Philip Alan, 1978.

(2) ウオナコット・ウオナコット『計量経済学序説』 培風館。

#### 4 申し込みの条件

統計学を履修中のこと。

#### 5 その他

(3) 解析学（積分、偏微分など）、線形代数（逆行列、掃き出し法、行列式、固有値問題など）については2年次までに修得しておくこと（未履修者も受け入れるが自習してほしい）。

(2) 3年次において「数理統計学」を履修すること。

### 鶴沢教官担当研究指導

#### 1 研究主題

理論経済学、特に、ミクロ経済理論

#### 2 指導要領

3年次では、英文テキストによる学習、および、その他の論文を読む。

4年次では、個別テーマに基づく卒業論文作成のための報告と討論。

#### 3 テキスト

Friedman, James W., *Oligopoly Theory*, (Cambridge U.P., 1983).

### 今教官担当研究指導

#### 1 研究主題

◦マクロ経済学および金融論。

#### 2 指導要項

◦テキストの輪読および卒業論文の作成。

#### 3 指導テキストおよび参考書

テキスト：Dornbusch, R. and S. Fischer, *MACROECONOMICS*, 4th edition, McGraw-Hill International Editions, ¥3,300

### 佐竹教官担当研究指導

- 1 研究主題  
貿易政策  
特に近年欧米で復活してきたといわれる保護貿易主義について考えてみたい。  
(何故保護主義は再びあらわれたのか？ 伝統的な自由貿易論は修正されなければならないのか？ 政治経済学的なアプローチが必要とされるのか？…)
- 2 指導要項
  - ・3年生は国際経済学・貿易政策の基礎知識を修得することを第一の目的とする。そのために下記のようなテキストを輪読する。
  - ・4年生は各自のテーマに沿った卒業論文の作成の指導を行う。
- 3 指導テキストおよび参考書
  - David Greenaway, *International Trade Policy*, Macmillan, 1983
  - Peter Robson, *The Economics of International Integration*, George Qllen & Unwin, 1984

### 坪沼教官担当研究指導

- 1 研究主題  
金融・証券市場について制度的及び理論的な基礎知識を修得し、さらに専門的テーマとして情報の役割についての理論的な研究を行う。
- 2 指導要項
  - 3年次：日本語のテキストで金融の基礎を学んだ後、英文テキストを輪読。
  - 4年次：卒論の指導。
- 3 指導テキストおよび参考書
  - 蠟山昌一編『証券・金融・ファイナンス』東洋経済新報社、1987年
  - N. Storong and M. Walker, *Information and Capital Markets*, Blackwell, 1987.

### 船津教官担当研究指導

- 1 研究主題  
「国際貿易と不完全雇用」  
経済全体に長期にわたる生産要素の不完全雇用が存在する場合に伝統的な貿易理論はど

のように修正されるか検討した上で、オイルショック以降の世界経済の動向を実証的に分析します。

- 2 指導要項
  - 3年次においては、英文テキストの輪読、英字新聞・雑誌の経済記事に関するディスカッションを通じて研究主題への理解と関心を深めます。同時に経済分析用具の習得に努めます。
  - 4年次においては、各自の設定したテーマに沿って研究発表・論文の作成を行います。
- 3 テキスト
  - Schweinberger, A. G., "Unemployment, Economic Efficiency and Government Policy," Dec. 1987 (Wheatsheaf Books).

### 本間教官担当研究指導

- 1 研究主題  
「国際的視野における農業と経済」  
経済発展における農業の役割や国際経済摩擦の中の農業問題を理論的・実証的に分析する。その中には世界の食糧問題、南北問題、農産物貿易問題等のトピックスが含まれる。
- 2 指導要項
  - 3年次は各種文献の講読と特定のトピックスについての報告をしてもらう。討論を重視する。
  - 4年次は卒業論文の指導。
- 3 指導テキストおよび参考書
  - 開発経済学、農業経済学、国際経済学関連の文献からいくつかをとりあげる。

### 松井教官担当研究指導

- 1 研究主題  
19世紀国際金本位制から今日のSDR問題に至る国際通貨制度の歴史及び理論
- 2 指導要項
  - 3年生：テキスト講読
  - 4年生：卒業論文指導
- 3 指導テキストおよび参考書
  - R. Z. Aliber, *International Money Game*, fifth ed., Basic Books, 1987.

### 山本(賢)教官担当研究指導

- 1 研究主題  
ミクロ経済理論——主に世代重層モデルを中心とした、異時点間の資源配分をめぐるト



ピックスについて

## 2 指導要領

3年次：基礎的な文献について報告を行ってもらい、その過程で分析用具に習熟しつつ、卒業論文のテーマを決める。

4年次：卒業論文の作成。なお、他のメンバーの論文についての積極的なコメントも求められる。

## 3 指導テキスト

幾つかのテキスト・解説論文を中心とする reading list を、開講時に用意する。

## 長谷川教官担当研究指導

### 1 研究主題

日本経済史のうち、近世後期（幕末開港前後の国際関係と国内経済）。

### 2 指導要領

4年次一下記テキストの講読と史料の検討。卒業論文のテーマは上記主題に限定しなくともよいが、4年次最初までに方針をたてること。

### 3 指導テキストおよび参考書

〔テキスト〕西川俊著作『江戸時代のポリティカル・エコノミー』日本評論社、1979年刊、オールコック著、山口光朔訳『大君の都—幕末日本滞在記—』全3冊、岩波文庫、青木美智男・河内八郎編『講座日本近世史7・開国』有斐閣、1985年刊、等。

## 板谷教官担当研究指導

### 1 研究主題

公共経済学

### 2 指導要領

第4年次生に卒業論文指導を行います。ただし、夏休み前までは、自主的に以下に掲げる英文のテキストを読みます。

### 3 指導テキストおよび参考文献

J. G. Cullis and P. R. Jones, Microeconomics and Public Economy: A Diffence of Leviathan, Basil Blackwell, 1987

## 久野教官担当研究指導

### 1 研究主題

会計学（簿記学を含む）

### 2 指導要領

3年次：わが国の『企業会計原則』の批判的研究と外書講読を中心にして基礎的知識を修得させる。

4年次：卒業論文の指導—各人の発表をもとにしてディスカッションを行う。

### 3 指導テキストおよび参考書

3年次の後半において使用する外書は学生諸君と相談のうえ決定する。

### 4 申し込みの条件

2年次終了時において語学その他の基礎教育科目の所要単位を取得し、かつ簿記学の単位を優秀な成績で取得可能な者

### 5 その他

ゼミという組織にかんがみ、ゼミに求める以上にゼミに貢献できる人物を望みます。

## 篠崎教官担当研究指導

### 1 研究主題

84年次 地域再開発に関する産業政策と地場企業経営

85年次 衰退の経営学

86年次 小樽市観光産業の経営と経済

### 2 指導要領

全 般：社会科学のものの考え方を基礎に現実の地域が抱える問題の解明へと至る。

3年次：社会科学および現代経営学の基礎的文献の講読。

4年次：地場企業経営の実態分析と観光産業の経済波及効果の分析を行う。

## 中教官担当研究指導

### 1 研究主題

管理会計論および財務諸表分析

### 2 指導要領

3年次生：今年度は、管理会計論の講義が開講される。したがって、管理会計の基礎的

な知識の習得はそこでカバーすることにしたい。ゼミナールでは、以下の英語文献をとり上げて輪読し、解説を加えることにする。また、卒業論文のテーマとして、財務諸表分析を選ぶ場合には、統計学の学習が必要である。

Hopwood, A., Accounting and Human Behaviour. Haymarket, 1974

4年次生：各自の選択したテーマについて、卒論の作成へ向けて指導する。

### 3 テキスト・参考書

溝口一雄編著「文献学説による管理会計の研究」（中央経済社 昭和59年）

## 和田(完)教官担当研究指導

テーマ：産業精神衛生。

企業体やそれをとりまく社会環境が、労働者にいかなる精神的問題を誘発するかという点に焦点を合わせて研究する。

3年次：臨床心理学，社会病理学等，関連領域についての常識を養ってもらうために，文献，施設見学等を中心に概論的研究を行う。

4年次：3年次にえた知識をもとに，関心のあるテーマをできるだけ早く決定し，卒業論文の作成，完成を早期に目指す。

文献は，概論書は教室で用意する。また，専門論文は指定したものをコピーして使用してもらう。

## 青山教官担当研究指導

### 1 研究主題

金融，証券の肥大化現象に関する研究

### 2 指導要領

3年次生：研究主題にそって金融，証券に関する文献を読み，問題意識のかん養につとめる。

4年次生：前期はテキストの講読を中心に行う。後期は卒論作成に向け各自の卒論テーマに関する報告と討論を行う。

### 3 テキスト

当面，次の文献を予定している。

川合一郎『株式価格形成の理論』有斐閣。

保坂直達『金融革命と銀行の国際化』有斐閣。

スーザン・ストレンジ『カジノ資本主義』岩波書店。

## 小田教官担当研究指導

### 1 研究主題

現代企業の「所有一支配一経営」の構造

### 2 指導要領

3年次—テキストの輪読

### 3 指導テキスト

奥村宏『法人資本主義—「会社本位」の体系—』，御茶の水書房，1984年，1,800円。

その他，もう一冊読む予定（英語文献）。

## 高田教官担当研究指導

### 1 研究主題

ビッグ・ビジネス，とくに多国籍企業の経営活動

### 2 指導要領

3年次：テキストの輪読・討論（内外の文献をできるだけ多くあたり，活発な討議のなかで問題関心と分析力を養いたい）

4年次：卒業論文の作成（ゼミナリスト間の切磋琢磨を通じて論文作成を図りたい）

### 3 テキスト

テキストは多数（英文も多用）。適宜指示します。

## 東條教官担当研究指導

ゼミの内容はゼミ生諸君と相談して決める。ゼミの主役は諸君なのであるから大いに自主性を発揮してもらいたいと思う。

形式については，内定者の数が多いので，3チームぐらいに分けてのグループ研究を提案するつもりである。

## 福島教官担当研究指導

### 1 研究主題

原価計算および管理会計

### 2 指導要領

3年次の前半では基本的な「原価計算」および「管理会計」のテキストによって基礎知識を身につけ，その後半から4年次にかけて「管理会計」の外国語文献（英文）の精読によって理解を深める。ひきつづき卒業までに，各自選択したテーマで卒業論文を執筆する。

また，長期休暇には，なんらかの文献を読んでレポートを提出してもらう。

なお，いずれの段階においても，単なる知識の修得だけでなく，討論を通じて研究主題特有の考え方を培うことを目標にする。

### 3 テキスト

3年次前半で使用するテキストは辻厚生編著『管理会計の基礎理論』（中央経済社，1985）および津曲直躬『原価計算論講義』（中央経済社，1985）。後半から使用する英文テキストについてはゼミ生と相談して決めるが，今のところ D. T. DeCoster and E. L. Schafer, *Management Accounting: A Decision Emphasis*, 3rd. ed. を考えている。

### 4 留意事項

ゼミ生には旺盛な研究意欲とともに地道な学習努力を要求する。

## 松本(康)教官担当研究指導

### 1 研究主題

簿記、則務会計論、および国際会計論

### 2 指導要領

3年次：上記研究主題について、次の予定に従って文献（欧文を含む）を数冊輪読する。

〈簿記〉      〈財務会計論〉      〈国際会計論〉

春休み 基礎知識の修得

5月

入門的概観

夏休み 上級簿記の修得

9月

制度会計の検討

冬休み

全般的検討

1月

個別的検討

4年次：卒業論文の作成を最終目的として、各自の選択したテーマについて発表と討論を重ねます。

3 〈簿記〉の第1段階では、久野光朗編著『簿記論講義』および『簿記論演習』を使用し、〈財務会計論〉では、新井益太郎『財務会計の現論』を取り上げる予定であるが、その他は未定である。

### 4 申し込みの条件

- ① 明確な目的意識を有し、勉強意欲の旺盛なものであること。
- ② ゼミナール全体の見地から何らかの貢献を果たそうとし、かつ行動できる者であること。

### 5 その他

当ゼミナールは「よく学び、よく遊び」の方針である。したがって、課外活動にも積極的に参加すること。

## 森田教官担当研究指導

### 1 研究主題

国際関係の経済学的分析。

### 2 指導要項

3年次：基礎的文献の輪読。

4年次：卒業論文の作成指導。

### 3 指導テキストおよび参考書

Charles P. Kindleberger, *Power and Money*, Macmillan, 1970. および Richard N. Cooper, *The Economics of Interdependence*, Columbia University Press, 1968. を予定している。

## 山本(真)教官担当研究指導

### 1 研究主題

簿記および財務会計論

### 2 指導要領

3年次においては、文献講読、レポート提出により会計学の基本的思考を修得し、4年次において、各自の選択したテーマに従って卒業論文を作成する。指導計画は次のとおりである。

3年次前期：邦語テキストの輪読と報告

3年次後期：外国語テキストの輪読と報告

4年次前期：上記の継続

4年次後期：卒業論文の作成指導

### 3 テキスト

中村忠著『新訂現代会計学』（白桃書房）。

外国語テキストについては未定。

## 高宮城教官担当研究指導

### 1 研究主題

マーケティングおよび流通システムの理論的・実証的研究を行う。我々の日常生活ときわめて近いところにある企業・組織体のマーケティング活動と、それと密接な関係にある流通システムの諸側面について、理論と実際の両面から分析を加えることにより、広義の流通現象についての理解を深めることをねらいとする。

### 2 指導要項

3年次：マーケティング論・流通システム論の基礎知識を修得するために文献輪読とケース・スタディを行う。これと並行して3年次後半よりグループで実証研究を行うことを求める。

4年次：卒業論文の指導を教室での討論と個別指導を通じて行う。

### 3 指導テキストおよび参考書

追って指示するが、以下の文献を予定している。

Philip Kotler, *Marketing Management*, 5th ed., Prentice-Hall, 1984.

石井淳蔵『日本企業のマーケティング行動』, 日本経済新聞社, 昭和59年。

鈴木安昭・田村正紀『商学論』, 有斐閣新書, 昭和55年

田村正紀『流通産業大転換の時代』, 日本経済新聞社, 昭和57年。

田村正紀『日本型流通システム』, 千倉書房, 昭和61年。

嶋口充輝・石井淳蔵『現代マーケティング』, 有斐閣, 昭和62年。

## 青竹教官担当研究指導

- 1 研究主題  
会社法の研究
- 2 指導要領  
会社法に関する具体的問題をテキストおよび参考書より取り上げて検討してもらい、会社法が企業活動とどのようにかかわっているかを知ってもらう。自発的な討論を期待している。  
なお、4年次の後半は卒業論文の作成指導を中心とする。
- 3 指導テキストおよび参考書  
上柳・鴻・竹内編『会社法演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』（有斐閣）  
ジュリスト別冊『会社判例百選（第四版）』（有斐閣）

## 秋山教官担当研究指導

- 1 研究主題  
「行政判例の研究」  
過去の重要な行政判例をとりあげ、具体的なケースを通して行政法の理解を深めるとともに、法律的な分析能力、思考能力を養うことをねらいとする。
- 2 指導要項  
3年次生はとりあえず下記の(1)を用い、行政判例の読み方と解釈論の基礎を身につける。  
4年次生は下記(1)および(2)を用い、直接判決文にあたりながら判例理論を学び、後半は卒業論文作成を中心とする。
- 3 指導テキストおよび参考書  
(1) 行政判例百選（第Ⅱ版）Ⅰ、Ⅱ（別冊ジュリスト）  
(2) 判例時報  
なお、昭和63年度ゼミ履修者は、4月開講時まで上記(1)を各自入手しておくこと。

## 大谷教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際社会と法秩序について
- 2 指導要領  
3年次 原書購読  
4年次 卒業論文作成指導
- 3 指導テキストおよび参考書  
原書購読のテキストは、内定者の語学力および選択第二外国語の状況をみた後に選定する。

なお、参考書としては、山本草二「国際法」（有斐閣）と別冊法学教室「国際法の基本問題」（有斐閣）を使用する。

## 神田教官担当研究指導

- 1 研究主題  
民法学における重要問題の研究  
（財政法の領域を中心とする。但し、学生の希望があれば家族法の部分をもとりあげる。）
- 2 指導要領  
重要判例もしくは事例問題の検討をととして、民法の全体像、運用の実際を理解するとともに、民法学上の現代的課題を研究する。  
毎回2名から研究の結果を報告してもらい、それをうけて全体でその当否を論議し問題点を究明する。毎回、全員から各自の回答の要旨を提出してもらう。
- 3 指導テキストおよび参考書  
現在検討中。事例問題集か、いわゆる演習ものいずれかを考えている。最終的には参加する学生数を考慮のうえ決めたい。但し「民法の争点ⅠⅡ」および「民法判例百選ⅠⅡ第Ⅱ版」（いずれもジュリスト別冊）は、副本として用いることが確定なので予め購入されたい。

## 浅木教官担当研究指導

銀行取引を素材とする私法総合ゼミを行う。民法、商法、民訴法は、それぞれ独立して存在するものではなく、相互に有機的に関連している。これらを基礎から、総合的に学んでみようという試みである。

将来、企業において、早期に戦力たりうるよう、具体的な取引で生じる法的な問題を重点的に扱いたいと考えている。

## 桑原教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際取引法上の諸問題
- 2 指導要領  
3年次および4年次前半……下記テキストの輪読  
4年次後半……卒業論文指導
- 3 指導テキストおよび参考書  
Schmitthof's Export Trade The Law and Practice of International Trade  
7th ed. 1980

## 島田教官担当研究指導

- 1 研究主題  
現代労働法学の重要問題の検討
- 2 指導要領  
3年次 判例を通じての労働法理論の修得。  
4年次 とくに後期には卒論指導を重点とする。
- 3 テキスト 適宜指示する。

## 清水教官担当研究指導

- 1 研究主題  
「国際経済法」  
国際経済法という分野は、国際法で経済に関係する部分とそれに関連する国内法を研究対象とすると考えられる。この研究指導においては、そのなかでも国際貿易の公的な規制に関する法律問題を取り上げる。中心的な課題は、ガットという法的枠組において貿易摩擦問題がどのように扱われているかを検討することである。
- 2 指導要領  
3年次及び4年次前半：下記の(1)から(4)までのガット文書を講読した後、ガットの紛争処理手続において扱われた具体的な事例を検討する。  
4年次後半：卒業論文作成の指導を行う。
- 3 指導テキスト及び参考書  
(1) Conciliation and Dispute Settlement, GATT FOCUS Nos. 46 & 47. (1987).  
(2) Understanding Regarding Notification, Consultation, Dispute Settlement and Surveillance, GATT Document L/4907 (1979).  
(3) Ministerial Declaration, GATT Document L/5424 (1982).  
(4) Procedures under Article XXIII, Decision of 5 April 1966.  
(5) 三宅正太郎『貿易摩擦とガット』(1985)〔日本貿易協会〕。  
(6) 松下満雄『日米通商摩擦の法的争点』(1983)〔有斐閣〕。  
(7) 高野雄一・小原喜雄編『国際経済条約集』(1983)〔有斐閣〕。

## 中村(恵)教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際法上の基本問題
- 2 指導要領  
3年次—国際法に関する文献の輪読及び国際法判例の研究

## 4年次—卒業論文作成指導

- 3 指導テキスト  
最初の時間に、文献・判例の検索方法を指導した後、各自に選択してもらいます。

## 丸山教官担当研究指導

- 1 研究主題  
広義の刑事法(少年法、刑事訴訟法等を含む)に関する諸問題の検討
- 2 指導要領  
3年次 各人の選択した個別テーマについて、報告、討論を行う。  
4年次 3年次と同じ方法により卒論指導をする。
- 3 指導テキストおよび参考書  
特に指定しないが、最低限総論の教科書、ジュリスト判例百選刑法(I)、(II)は準備しておくこと。

## 結城教官担当研究指導

- 1 研究主題  
近代立憲主義の基本原則と現代的諸問題
- 2 指導要領  
3年次 下記テキストによる報告と討論  
4年次 卒業論文の作成・報告
- 3 テキスト  
『憲法の争点(新版)』(ジュリスト増刊)有斐閣

## 和田(健)教官担当研究指導

- 1 研究主題  
独占禁止政策の実効性の研究
- 2 指導要領  
上記テーマに関する2年間の研究スケジュールを作成し、各自の担当部分を決め、順次報告する。卒論のテーマはそのなかから選択する。
- 3 参考書等  
1 実方・厚谷・向田・和田編「教材独占禁止法〔第二版〕」  
2 実方謙二「独占禁止法」  
3 研究の際には多くの資料・文献を読むことになる。

## 戸島教官担当研究指導

- 1 研究主題  
Lisp処理系（インタプリタとコンパイラ）の研究と開発。
- 2 指導要領  
研究用に準備してあるBasic, Pascal, Cなどで記述された小規模なLispインタプリタを対象にその機能を拡張し、それらの上でLispで記述されたLispコンパイラを走らせる。コンパイラは新しく開発するか既存のものを使用する。
- 3 指導テキストおよび参考書  
必要に応じてその都度指示するが、次の文献はLispプログラミングを行う者にとっては必読書のひとつである。  
Winston and Horn, LISP (2nd Ed.), Addison-Wesley, 1984.  
初版の邦訳がある。

## 沼田教官担当研究指導

- 1 研究主題  
オペレーションズ・リサーチ  
オペレーションズ・リサーチには多数・多種類の分野や手法がある。それらのすべてについて勉強することは不可能であるが、オペレーションズ・リサーチの考え方、基礎的知識を身につけるとともに、いくつかの分野・手法について詳細な勉強をする。
- 2 テキスト  
W. E. Pinney, D. B. McWilliams, *Management Science* (Harper & Row, Publishers, 1987)
- 3 ゼミ所属の条件  
イ. 管理科学概論履修済みのこと。  
ロ. 応用数学（代数）に合格すること。  
ハ. 情報処理 I 不合格の場合は辞退してもらう。

## 樋口教官担当研究指導

- 1 研究主題  
社会システム・モデルに関する理論的および実証的研究
- 2 指導要領  
3年次：テキスト講読とコンピュータ・プログラミング演習。  
4年次：テキスト講読および社会システムのモデル構築のためのシステム分析、データ収集、プログラム開発ならびにデータ解析（卒業研究）。ゼミで扱う研究内容

は管理科学Ⅱでとりあげたテーマをより詳細にしたものと考えてさしつかえない。したがってそれを必ず受講することを条件とする。

- 3 テキスト  
3年次：社会システムの方法 茅陽一, 森俊介 オーム社  
4年次：論文コピーを使用

## 山田(一)教官担当研究指導

- 1 研究主題  
現代組織科学技術の総合的研究  
現代における経営学説、組織論には実に多種多様な理論、アプローチが存在するが、それらを組織科学と称し、以下の5項目を中心題目として研究していくことにする。  
(I) 経営情報論  
(II) システム監査論  
(III) コンピュータと心靈学  
(IV) 組織サイバネティックス  
(V) バイオ・コンピュータの基礎  
上記のテーマのうち、3つないし4つのテーマを実践する。
- 2 指導要領  
商学部のゼミとして、実践的な研究を行う。将来の企業人の資質を養成できると信ずる。卒論のテーマ及び使用するテキスト等は相談の上決定する。  
3年次) ①コンピュータの操作及び基礎知識の修得  
②使用テキストを決め輪読形式で研究  
4年次) 各自卒論の完成と評価
- 3 指導テキスト  
I アメリカ及びドイツの組織論についての文献  
II アメリカのManagement Scienceについての文献  
III 世界中のComputer Scienceについての文献  
(Iは輪読, II, IIIは各自テーマにそい選択, いずれも相談の上決定する。)
- 4 申し込みの条件  
真の人間尊重をめざした(パートナー)としてのコンピュータの活用の実現に向けて、意欲を傾ける努力家を歓迎する。  
原則として管理科学科に所属していること。

## 若林教官担当研究指導

- 1 研究主題

### 「管理科学の基礎的研究」

- ・マイクロコンピュータと数理計画法（線形計画法，二次計画法）
  - ・アルゴリズムとデータ構造（Modula-2）
- 2 指導要領
    - ・管理科学の幅の広いものの見方・考え方を養う。
    - ・指導テキストの輪読と演習。
    - ・下記のテーマについての卒業論文の作成を指導。

数理計画法，生産在庫計画，現代ゲームの理論，ネットワーク・グラフ理論  
プログラミング暗号学その他。

### 3 指導テキストおよび参考書

Linus Schrage, *Linear Programming Models with LINDO*, The Scientific Press, 1982. の予定。

### 清水川教官担当研究指導

#### 1 研究主題

統計学

#### 2 指導要領

統計手法の使い方を学ぶ。

#### 3 テキスト

W. R. Dillon 他, "Multivariate Analysis" methods and applications 1984.

### 杉本教官担当研究指導

#### 1 研究主題

人工知能と言語情報処理

人工知能と呼ばれている分野へのコンピュータの応用が盛んになってきている。最近では工学系への応用よりも，文系の分野の応用の方が重要になっている。その場合，2つのことが問題になる。社会的なルールや人間の思考をどのようにコンピュータの中で表現するかということと，人間が使っている言葉をコンピュータでどう理解するのかということである。

#### 2 指導要領

3年生前半：コンピュータ言語（Prolog, Lisp）の学習

3年生後半：自然言語理解モデルの学習

4年生前半：人工知能に関する様々の手法の学習

4年生後半：各自のテーマでの卒論研究

#### 3 指導テキストおよび参考書

新田克巳，佐藤泰介「Prolog」昭晃堂

ウインストン「LISP」培風館

西田富士夫「言語情報処理」コロナ社

シャンク「自然言語理解入門」総研出版

### 中村(隆)教官担当研究指導

#### 1 研究主題

待ち行列の理論と応用

#### 2 指導要領

3年次：テキスト講読，コンピュータによるシミュレーション

4年次：卒業論文作成指導

#### 3 テキスト

H. M. ワグナー：「待ち行列」，培風館

K. S. Trivedi: "Probability and Statistics with Reliability, Queuing and Computer Science Application", Prentice-Hall.

### 行方教官担当研究指導

#### 1 研究主題

オペレーションズ・リサーチ，特に，動的計画法，ゲームの理論の基礎的研究。

オペレーションズ・リサーチの中から，多段階決定過程を扱う動的計画法，意思決定者が2人以上の場合を扱うゲームの理論を取り上げ，その基礎理論の理解と応用を目標とする。

#### 2 指導要領

3年次：テキストの講読，演習

4年次：卒業論文の作成指導

#### 3 指導テキストおよび参考書

鈴木光男 「ゲーム理論入門」 共立出版社

### 永原教官担当研究指導

#### 1 研究主題

英米小説及び文芸批評

#### 2 指導要領

3年次：毎週短編小説一編を読み，発表・討論を行って文学研究の基礎を養い，あわせて現代文芸批評についても指導する。

4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心にする。

3 指導テキストおよび参考書

Brooks & Warren. *Understanding Fiction*

E. M. Forster. *Aspects of the Novel*

Wayne C. Booth. *The Rhetoric of Fiction*

原田敬一訳、「MLA新英語論文の手引」（北星堂）

君羅教官担当研究指導

1 研究主題

英文学（英詩及びシェークスピア）

2 指導要領

3年次：毎週英詩数編を読み、発表・討論を行いながら英詩の分析法を中心に文学批評・研究の基礎を養成する。

4年次：前半（8月頃まで）は3年次の続き。

後半（9月以降）は各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心とする。

3 指導テキストおよび参考書

R. Brooks & R. P. Warren, *Understanding Poetry*, 4th ed. (Holt, Rinehart & Winston, 1976)

F. T. Palgrave, *The Golden Treasury* (Oxford U. P., 1964)

志子田光雄『英詩理解の基礎知識』（金星堂）

原田敬一訳『MLA新英語論文の手引』（北星堂）

下村教官担当研究指導

言語音声学（Linguistic Phonetics）の研究指導をします。今年度は、①音声音素論 ②生成音韻論 ③実験音声学を中心に指導します。

卒業年次生には、各自の関心に応じたテーマを設定し、研究論文にまとめあげる手助けをします。この論文には、必ず実験音声学による資料の解析結果が盛り込まれていなければなりません。

申し込みの条件

(3) 商業教員養成課程に所属していること。

(2) 英語教員免許のための教職に関する専門科目を24単位以上取得のこと。

山本(久)教官担当研究指導

1 研究主題

生成文法理論

2 指導要項

3年次：毎週生成文法理論に関する論文を読み、生成理論の基礎を養成する。

4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心とする。

3 指導テキストおよび参考書

John R. Ross. *Infinite Syntax*.

Noam Chomsky. *Knowledge of Language: its Nature, Origin, and Use*.

原田敬一訳『MLA新英語論文の手引き』（北星堂）



## Ⅶ 一般教育ゼミ

### 一般教育ゼミ(数学)

助教授 兼 岩 龍 二

今年は昨年からひきつづいて参加するという学生がいないので、テーマ・テキスト共未定です。集まった人達の希望を容れてどういふことを勉強するかを決めたいと思います。学年・既履修科目は問いません。ゼミの形式は輪読ゼミで、報告者に先生になってもらってテキストをわかりやすく解説してもらいます。参加希望者は4月25日(月)17:00に小生の研究室(新研究棟4階459)に集まって下さい。またこういうことを自分は勉強したいという具体的なものをお持ちの方はテキスト等の資料をそのとき持ってきて下さい。

### 一般教育ゼミ(日本文学)

教授 村 山 出

今年度で3年目になりますが、短歌の創作を主とするゼミです。昨年は俵万智歌集『サラダ記念日』の刊行によって、短歌が身近な表現手段となりました。

今まで短歌を作った経験がなくとも結構です。自分を表現してみたいと思う人は集まって下さい。

日時：4月26日(火)16時40分

場所：456室

### 一般教育ゼミ(ドイツ語Ⅲ)

助教授 大 塚 讓

すでにドイツ語Ⅰ・ドイツ語Ⅱを修得し、さらにドイツ語の勉強を続けたい人を対象とします。テキストは、こちらで用意するプリントを用います。ドイツ語の現代文に触れながら、複雑な初級文法項目の復習や中級文法項目の習得、さらには応用作文練習などを通じて、正確な読解力を養成することに主眼をおいて授業を進めます。折に触れてビデオ教材も使います。後期はもっと本格的な時事的評論文に進む予定です。やや厳しい授業になるでしょうが、辞書さえあれば標準的な現代文ならひとりで読みこなせる程度の、言葉の本来の意味での中級の実力の達成を目指してほしいと思います。(テキストは、ミヒャエル・エンデの『果てしない物語』と時事的文章を併用することになると思います。)

参加希望者は4月18日(月)12時30分に大塚(旧研究棟424)の研究室にお集り下さい。授業をする曜日、時間は、その時相談の上決めたいと思います。